

2024年3月期 決算説明会



2024年5月10日

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

2024年3月期 決算状況

2024年3月期 決算におけるポイント	4
1. 売上高・利益	5
2. セグメント別業績	8
- 自動車電池（国内）	9
- 自動車電池（海外）	11
- 産業電池電源	13
- 車載用リチウムイオン電池	15
- 特殊電池およびその他	16
3. 貸借対照表	17
4. キャッシュ・フロー計算書	18
5. 設備投資・減価償却費・研究開発費 ...	19

2025年3月期 業績予想と取り組み

2025年3月期 業績予想におけるポイント	21
1. 売上高・利益予想	22
2. セグメント別業績予想	24
- 自動車電池（国内）	25
- 自動車電池（海外）	26
- 産業電池電源	27
- 車載用リチウムイオン電池	28
- 特殊電池およびその他	29
3. 設備投資・減価償却費・研究開発費 ...	30
4. 財政状態	31

2024年3月期 決算状況

2024年3月期 決算におけるポイント

2024年3月期 業績 (4-3月)

	2022 年度 (4-3月)	2023 年度 (4-3月)	増減	前年比
売上高	5,177 億円	5,629 億円	+452 億円	+8.7 %
営業利益	315 億円	416 億円	+101 億円	+32.0 %
のれん等償却前営業利益	321 億円	422 億円	+101 億円	+31.7 %
経常利益	242 億円	440 億円	+198 億円	+81.6 %
親会社株主に帰属する当期純利益	139 億円	321 億円	+182 億円	+130.2 %
のれん等償却前 親会社株主に帰属する当期純利益	144 億円	326 億円	+182 億円	+126.1 %
EPS (1株当たり当期純利益)	173.11 円	369.74 円	+196.63 円	+113.6 %

業績の動向

- 売上高および営業利益の増加要因：販売価格是正
ハイブリッド車用リチウムイオン電池およびESSの販売数量増加
- 経常利益および純利益の増加要因：持分法による投資損益の改善
正味貨幣持高による利得の増加

1. 売上高・利益



	2022 年度		2023 年度		増減	(前期比)	(億円)	
	(4-3月)		(4-3月)				[参考] 2023 年度予想	
							当初予想	2024.2予想
売上高	5,177		過去最高 5,629		+452	(+8.7%)	5,800	5,600
売上総利益	1,132		1,262		+130		-	-
営業利益 (利益率)	315	6.1%	過去最高 416	7.4%	+101	+1.3P (+32.0%)	330	420
のれん等償却前営業利益 (利益率)	321	6.2%	過去最高 422	7.5%	+101	+1.3P	340	425
営業外収益	24		93		+69		-	-
営業外費用	96		69		△27		-	-
うち持分法による投資損益 (△は損失)	△28		33		+61		-	-
経常利益	242		過去最高 440		+198	(+81.6%)	270	380
特別利益	69		44		△25		-	-
特別損失	40		55		+15		-	-
税前当期純利益	271		429		+158		-	-
法人税等	86		47		△39		-	-
非支配株主 当期純利益	46		61		+15		-	-
親会社株主 当期純利益 (利益率)	139	2.7%	過去最高 321	5.7%	+182	+3.0P (+130.2%)	140	210
のれん等償却前親会社株主 当期純利益 (利益率)	144	2.8%	過去最高 326	5.8%	+182	+3.0P	150	215
EPS (1株当たり当期純利益)	173.11 円		369.74 円		+196.63 円		174.03 円	242.16 円
年間配当金 (円/株)	50 円		70 円 (予定)		+20 円		50 円 (予定)	60 円 (予定)
総還元性向	27.9 %		20.6 %		△7.3 P		-	26.6 %
ROE (自己資本当期純利益率)	6.5 %		11.6 %		+5.1 P		6.3 %	-
ROIC (投下資本利益率)	11.4 %		13.7 %		+2.3 P		11.5 %	-
国内鉛建値 (万円/t)	34.66 万円/t		37.34 万円/t		+2.68 万円/t		34.6 万円/t	38.1 万円/t
LME (US\$/t)	2,105 US\$/t		2,121 US\$/t		+16 US\$/t		2,100 US\$/t	2,200 US\$/t
為替 (円/US\$)	136.00 円/US\$		145.31 円/US\$		+9.31 円/US\$		135.00 円/US\$	145.00 円/US\$

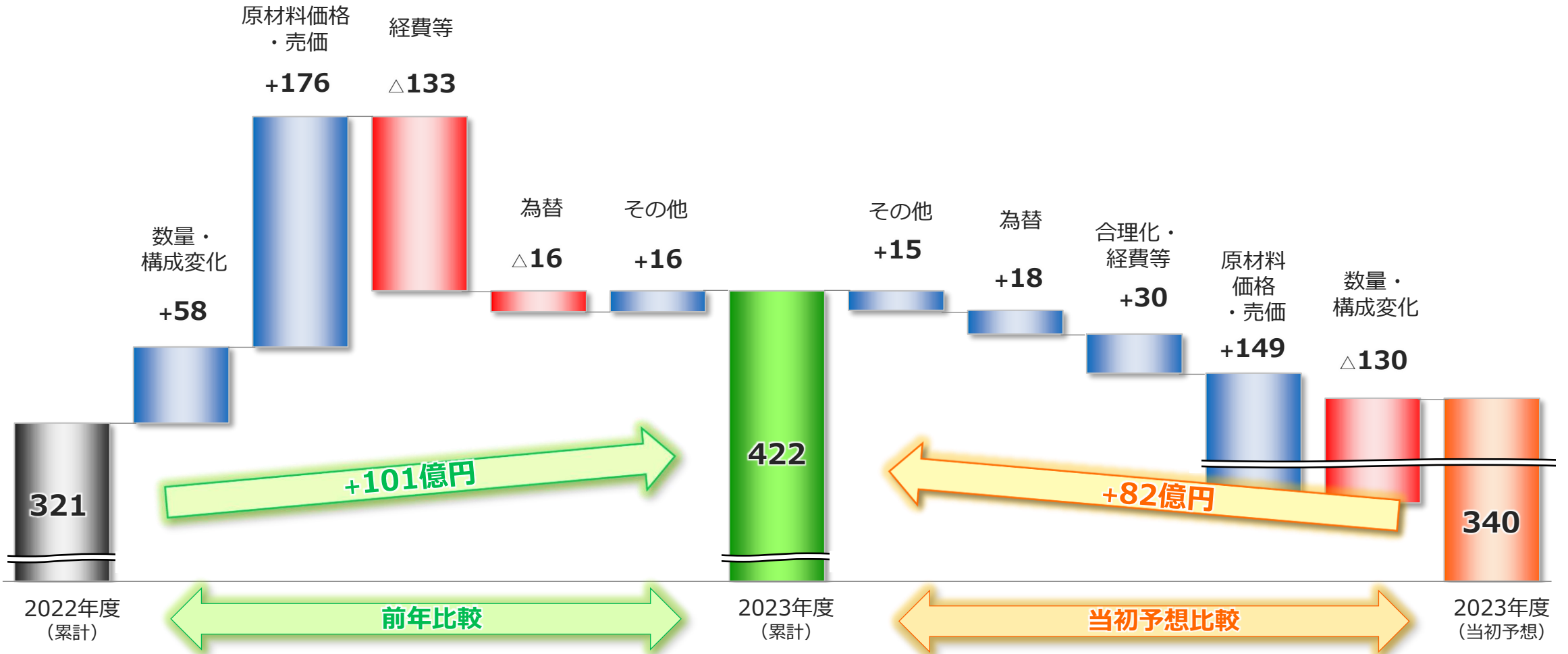
(注1) ROEおよび総還元性向は、のれん等償却前当期純利益に対するものです。

(注2) ROICは、のれん等償却前営業利益÷投下資本(固定資産(のれん等除く)+運転資本)で算出。投下資本は期首と期末の平均値。

1. 売上高・利益

営業利益増減要因 (前年・当初予想比較)

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

1. 売上高・利益

営業外損益・特別損益・法人税等などの増減要因（前年比較）

	2022年度 (4-3月)	2023年度 (4-3月)	増減 (億円)
営業利益	315	416	+101
営業外収益	24	93	+69
営業外費用	96	69	△27
経常利益	242	440	+198
特別利益	69	44	△25
特別損失	40	55	+15
税金等調整前当期純利益	271	429	+158
法人税等	86	47	△39
非支配株主に帰属する当期純利益	46	61	+15
親会社株主に帰属する当期純利益	139	321	+182

主な要因 () 内は2023年度の金額

- ▶ 持分法損益の改善 +61億円
(持分法による投資利益 33億円)
- ▶ 超インフレ会計適用による増加 +29億円
(正味貨幣持高による利得 35億円)

- ▶ 投資有価証券売却益の減少 △4億円
(投資有価証券売却益 18億円)
- ▶ 段階取得に係る差益の減少 △10億円
(2023年度はなし)

- ▶ 12V LiB事業の減損損失の減少 △29億円
(2023年度はなし)
- ▶ 中国事業の見直しによる損失 +35億円
(関係会社事業整理損 37億円)

- ▶ 税負担の軽減 △39億円
(法人税等合計 47億円)

2. セグメント別業績

(億円)

		2022 年度 (4-3月)		2023 年度 (4-3月)		増減		[参考] 2023 年度予想			
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	当初予想		2024.2予想	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)
自動車 電池	国内	878	65 (7.5)	940	81 (8.6)	+62	+16 (+1.1)	940	55 (5.9)	950	70 (7.4)
	海外	2,473	133 (5.4)	2,529	151 (6.0)	+56	+18 (+0.6)	2,520	150 (6.0)	2,470	175 (7.1)
産業電池電源		976	85 (8.8)	1,097	132 (12.0)	+121	+47 (+3.2)	1,110	90 (8.1)	1,100	110 (10.0)
車載用 リチウムイオン電池		654	20 (3.0)	848	26 (3.1)	+194	+6 (+0.1)	1,030	40 (3.9)	880	45 (5.1)
特殊電池およびその他		196	16 (8.4)	215	32 (14.9)	+19	+16 (+6.5)	200	5 (2.5)	200	25 (12.5)
合計		5,177	321 (6.2)	5,629	422 (7.5)	+452	+101 (+1.3)	5,800	340 (5.9)	5,600	425 (7.6)

23年度 実績

- ▶ 売価転嫁の効果により売上高は増加
- ▶ 自動車生産はサプライチェーンの回復により増加
- ▶ 鉛価格動向はLMEは安定的に推移も、円安影響を受けて国内鉛建値は高止まり
- ▶ 為替は円安基調が継続

<相場情報>	2022 年度 (4-3月)	2023 年度 (4-3月)	増減	[参考] 2023 年度予想	
				当初予想	2024.2予想
国内鉛建値 (万円/t)	34.66	37.34	+2.68	34.6	38.1
LME (US\$/t)	2,105	2,121	+16	2,100	2,200
為替 (円/US\$)	136.00	145.31	+9.31	135.00	145.00

(注1) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

(注2) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

2. セグメント別業績（自動車電池（国内））

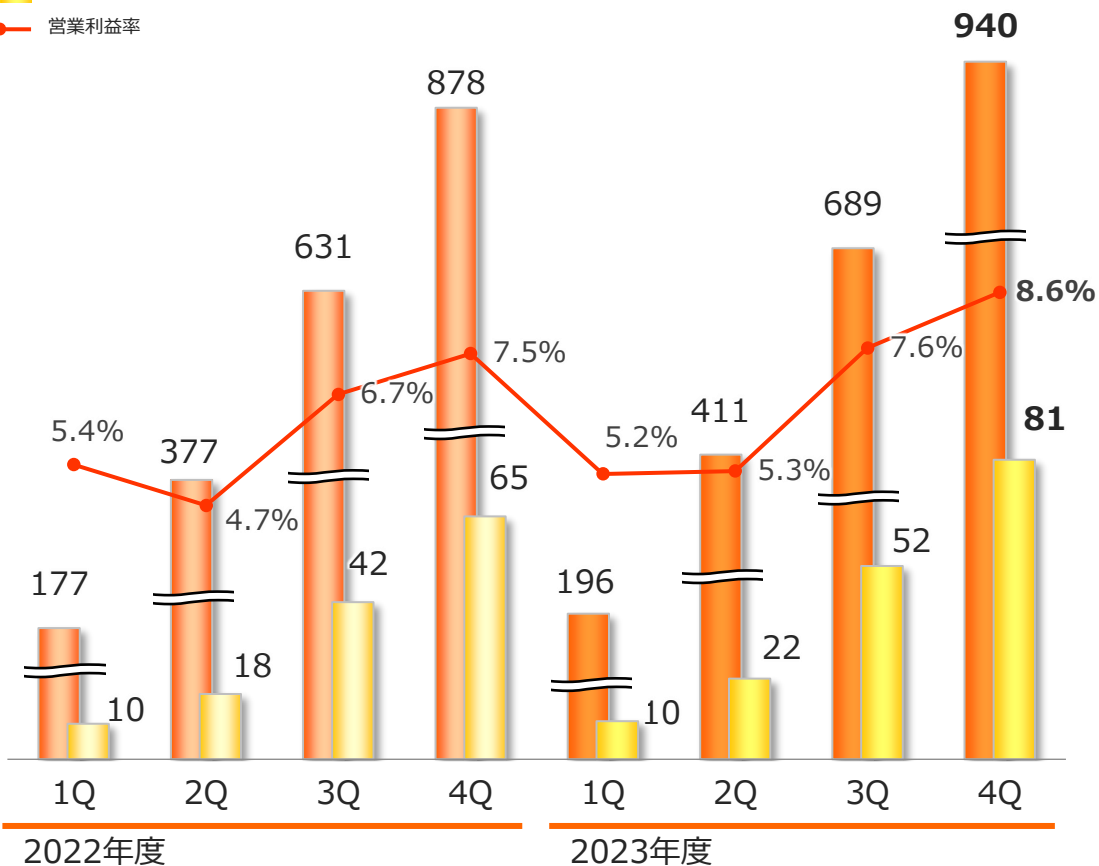
自動車電池（国内）

増収増益

売上高・営業利益・利益率（累計）

（億円）

■ 売上高
■ 営業利益
● 営業利益率



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2023年度 商況（4-3月）

- [新車向け] ➡
 半導体不足解消による新車販売台数回復により販売数量が増加
- [補修向け] ➡
 新車向け需要回復により販売数量は減少するも、売価見直しなどにより売上高が増加

増減益要因（前年比：4-3月）

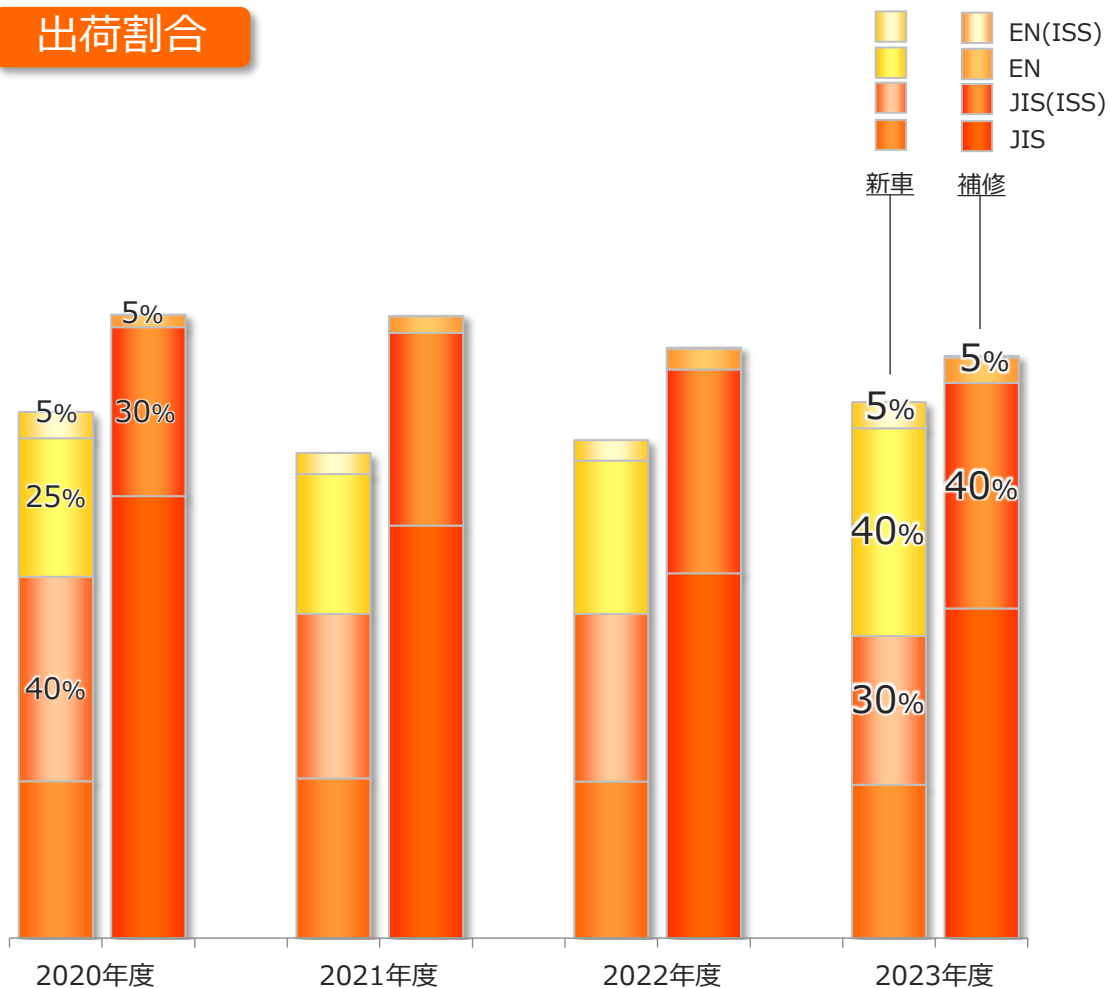
数量・構成変化	+3	
原材料価格・売価	+16	売価見直しにより増加
経費等	△4	

2. セグメント別業績（自動車電池（国内））

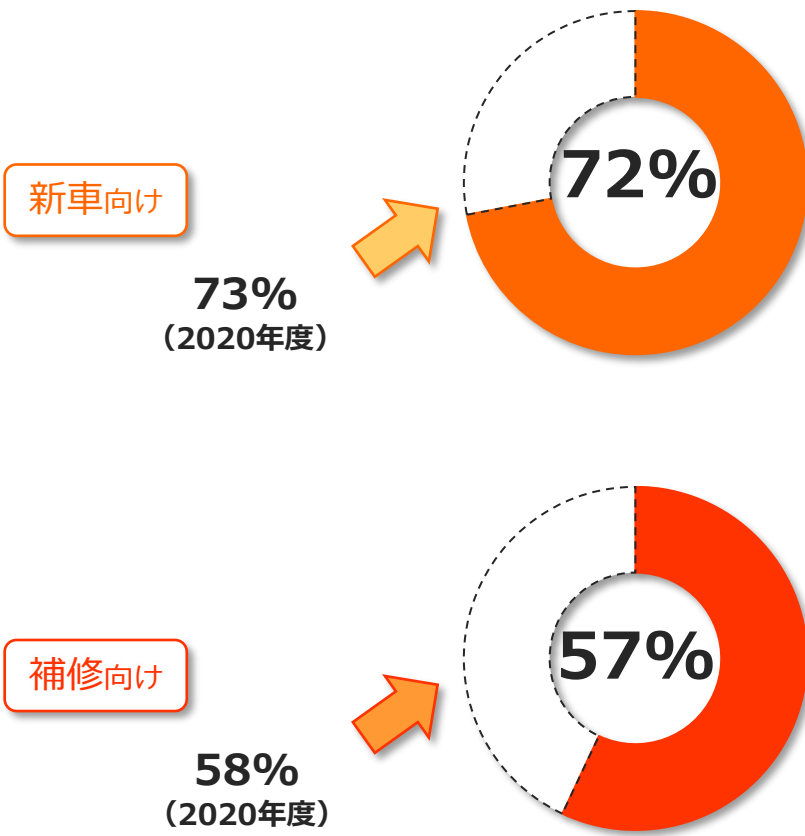
新車・補修向け出荷割合／シェア



出荷割合



シェア（2023年度／グループ合計）



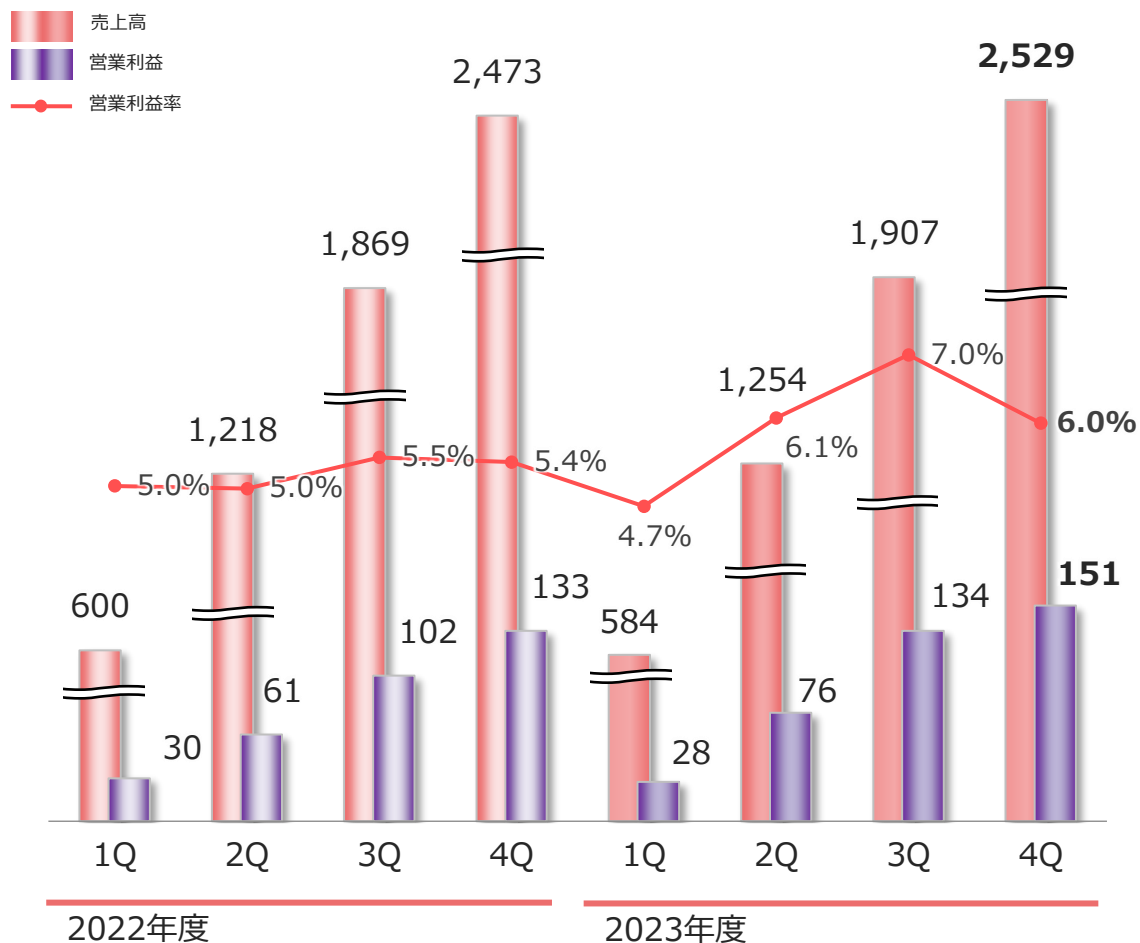
(注) 自社調べ（輸入電池含まず）

2. セグメント別業績 (自動車電池 (海外))

自動車電池 (海外)

増収増益

売上高・営業利益・利益率 (累計) (億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2023年度 商況 (4-3月)

- [東南アジア] 自動車用、オートバイ用の販売数量が減少
- [欧州、豪州] 自動車用販売数量が堅調に推移するとともに、売価見直しにより売上高は増加
- [中国] 主要2拠点の持分譲渡完了(10月末)により連結対象から除外

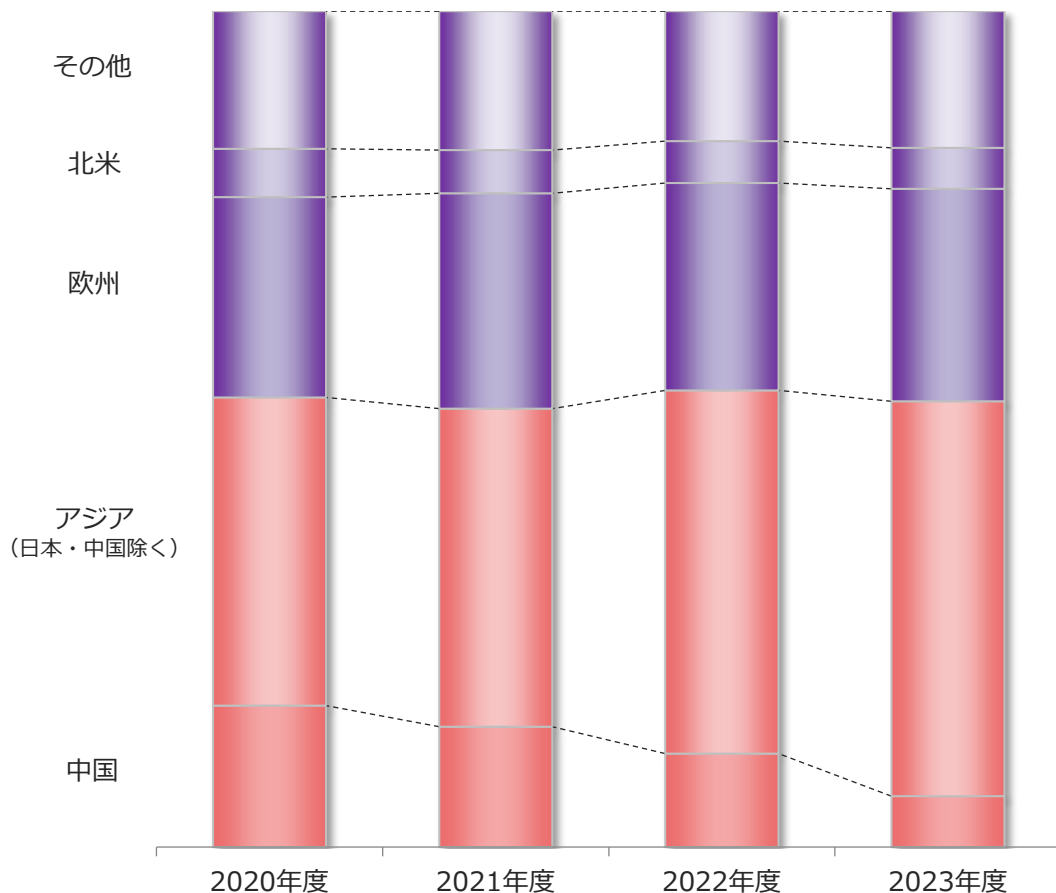
増減益要因 (前年比: 4-3月)

数量・構成変化	△14	主にインドネシアでの物量減
原材料価格・売価	+151	コスト上昇の売価反映により増加
経費等	△104	インフレ影響による経費増加および超インフレ会計の適用影響
為替	△16	トルコリラ安の影響

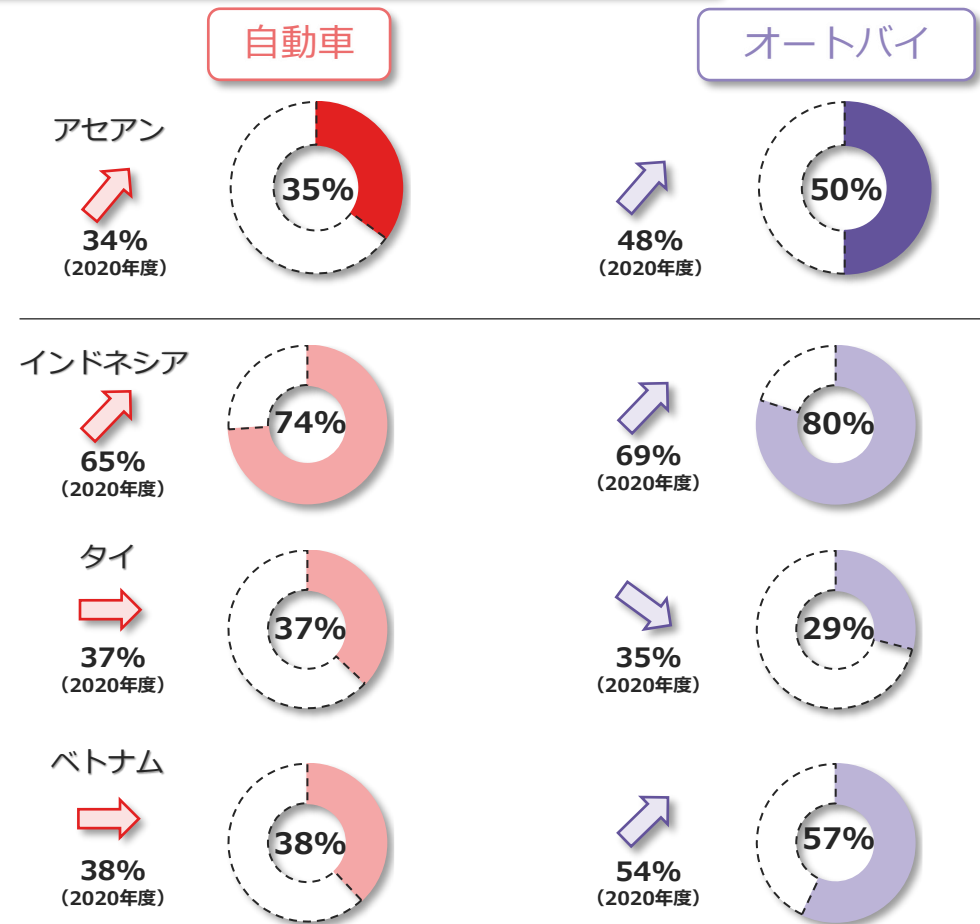
2. セグメント別業績 (自動車電池 (海外))

地域別売上高比率／シェア

地域別売上高比率 (自動車電池 (海外))



地域別シェア (2023年度／グループ合計)



(注) 自社調べ

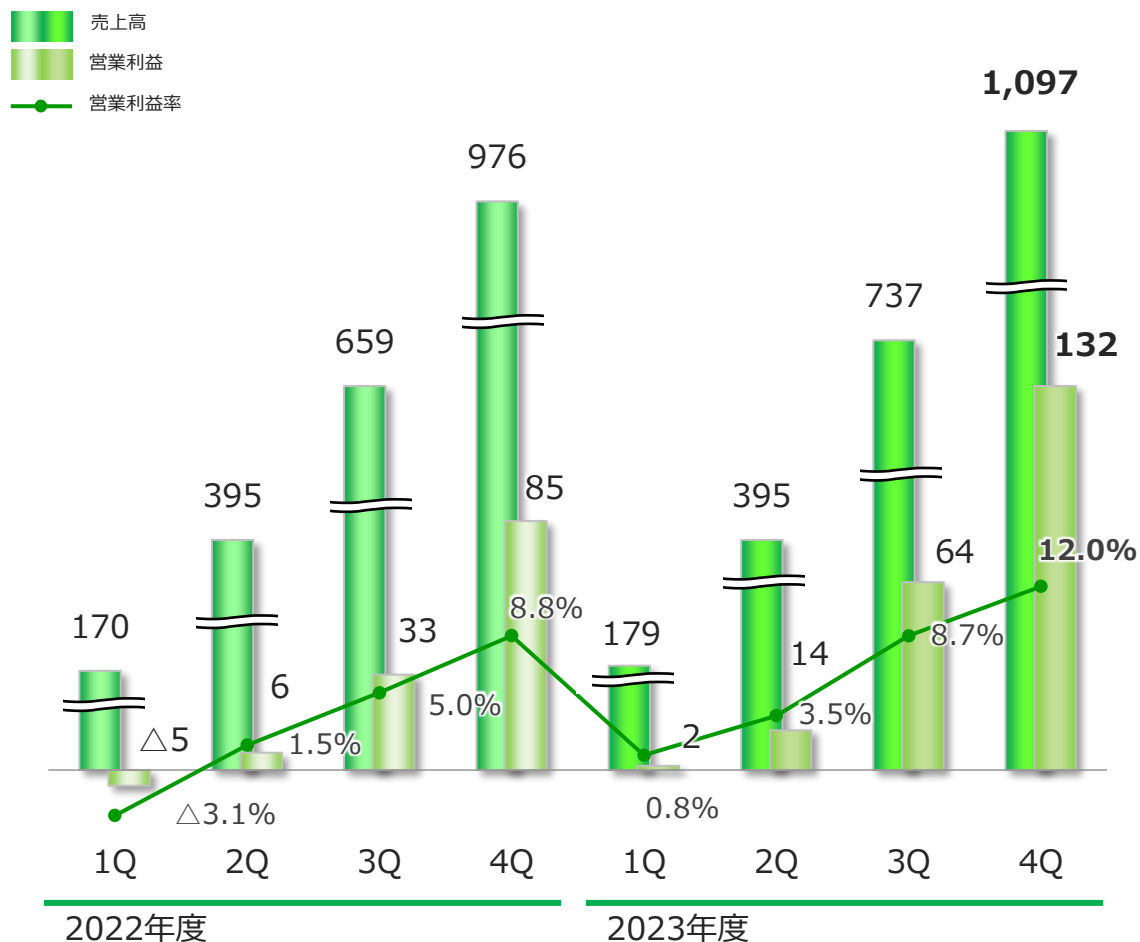
2. セグメント別業績 (産業電池電源)

産業電池電源

増収増益

売上高・営業利益・利益率 (累計)

(億円)



2023年度 商況 (4-3月)

- ▶ [常用 (国内)] ↗
蓄電 (ESS) 用リチウムイオン電池の販売が増加
- ▶ [非常用 (国内)] ↗
バックアップ用電池電源装置は売価見直しなどにより売上高は堅調に推移
- ▶ [フォークリフト用 (グローバル)] →
売価見直しなどにより売上高は増加

増減益要因 (前年比: 4-3月)

数量・構成変化	+21	常用分野で数量が増加
原材料価格・売価	+18	売価見直しにより増加
経費等	+7	

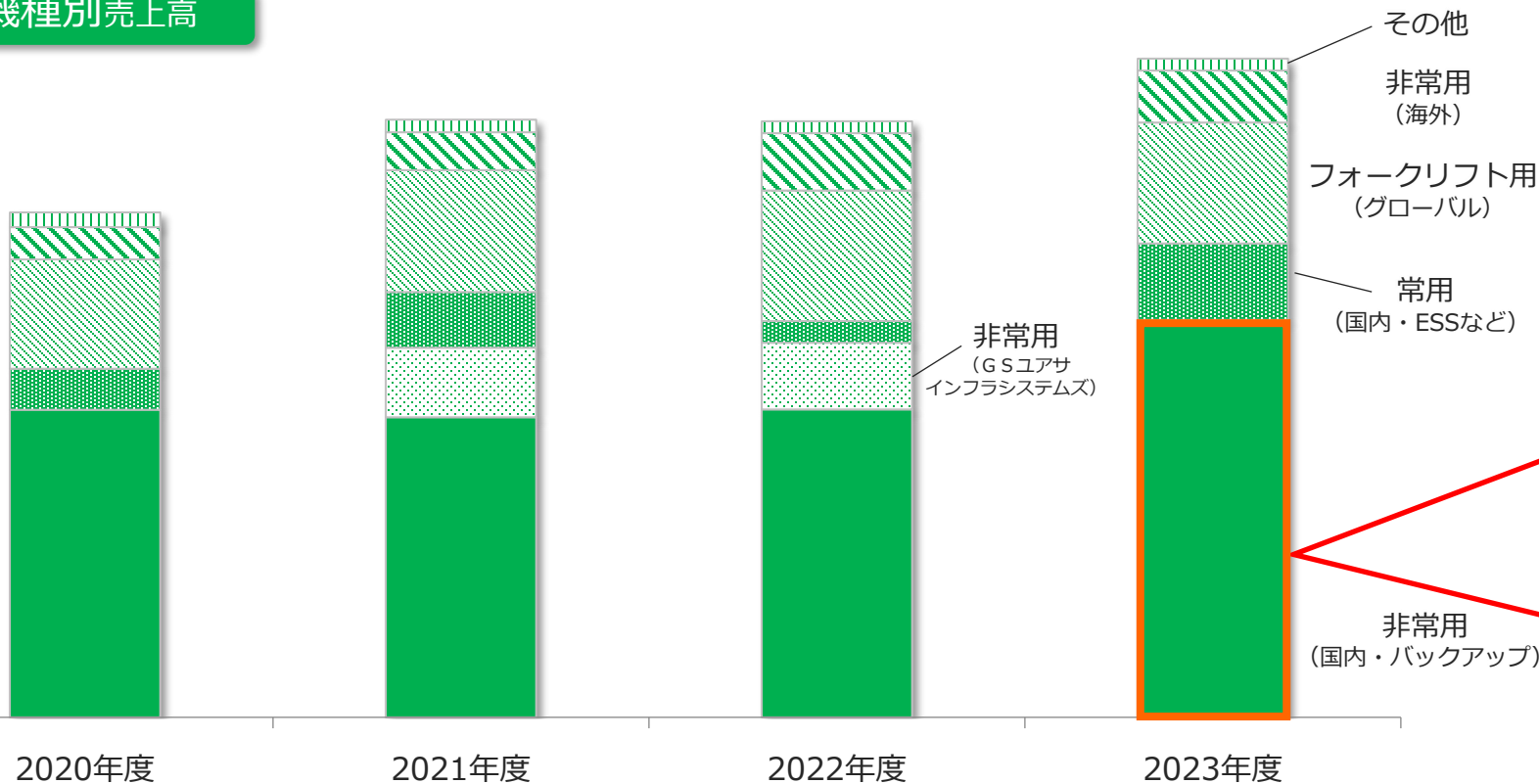
(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

2. セグメント別業績 (産業電池電源)

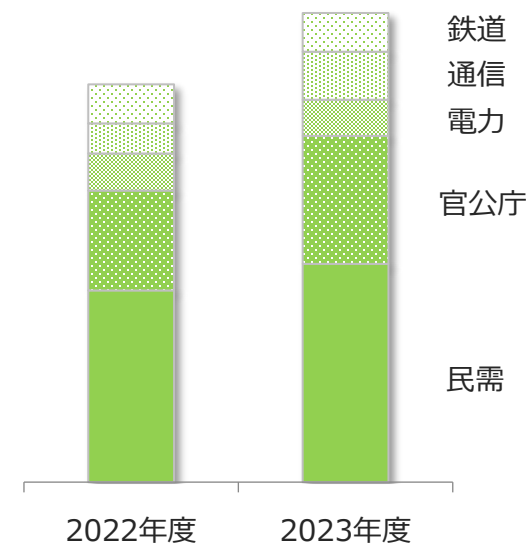
機種別・需要先別売上高



機種別売上高



需要先別売上高



世界最大規模の蓄電設備を納入 (2020・21年度)



(イメージ)

サンケン電気(株)の社会システム事業を譲受 (旧GSユアサ インフラシステムズ)

(注) 2022年度よりサブセグメントを見直し、従来の「海外」に含まれていた「フォークリフト用」を「フォークリフト用 (グローバル)」に移管しています。そのため、2020年度～2021年度も変更後の区分で表示しています。また、2023年度よりGSユアサ インフラシステムズを産業電池電源事業に統合しています。

2. セグメント別業績 (車載用リチウムイオン電池)

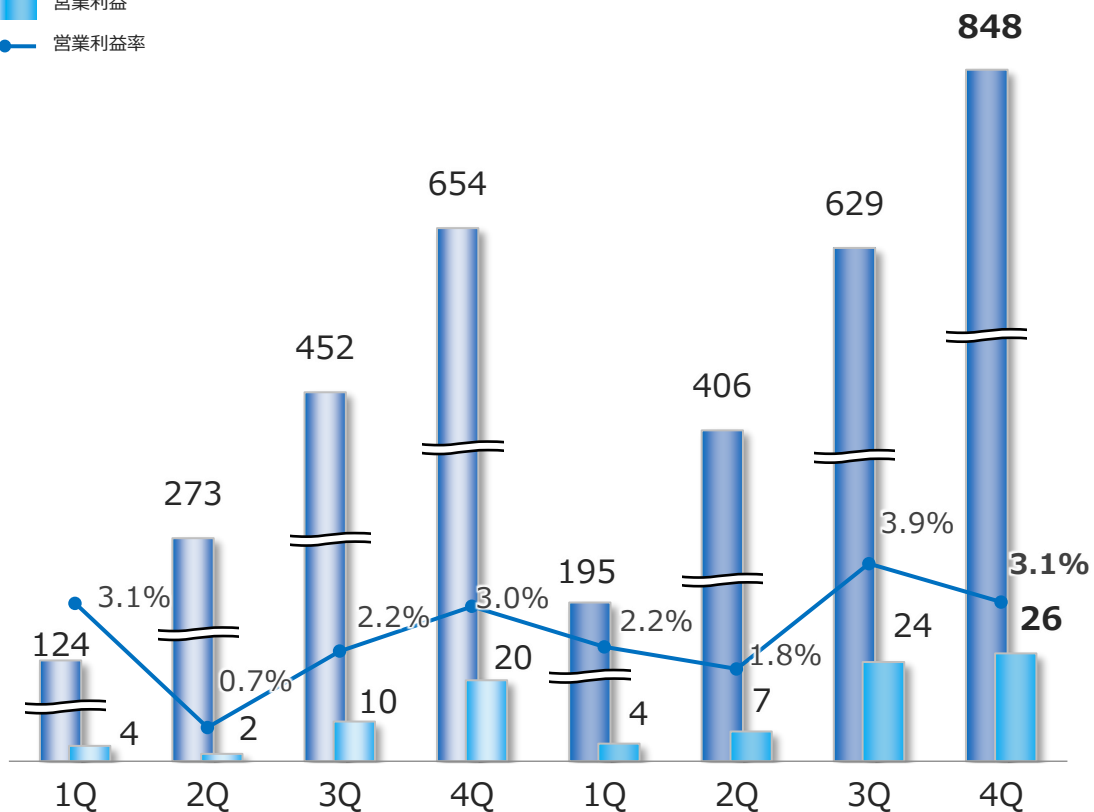
車載用リチウムイオン電池

増収増益

売上高・営業利益・利益率 (累計)

(億円)

■ 売上高
■ 営業利益
● 営業利益率



2023年度 商況 (4-3月)

- [HEV] ↗
半導体不足解消による新車メーカー生産回復、BECの生産体制強化により販売数量が増加
- [PHEV] ↘
搭載車種の販売数量が減少
- [EV] ↗
商用EV用リチウムイオン電池の販売開始
- [12V LiB] ↗
欧州向け納入車種の販売増加により販売数量が増加

増減益要因 (前年比: 4-3月)

数量・構成変化	+48	HEV用、ESS用、12V LiBの販売増加
原材料価格・売価	△9	
経費等	△32	BEC第2工場稼働や物量増に伴う経費増加、在庫評価の見直し

2. セグメント別業績 (特殊電池およびその他)

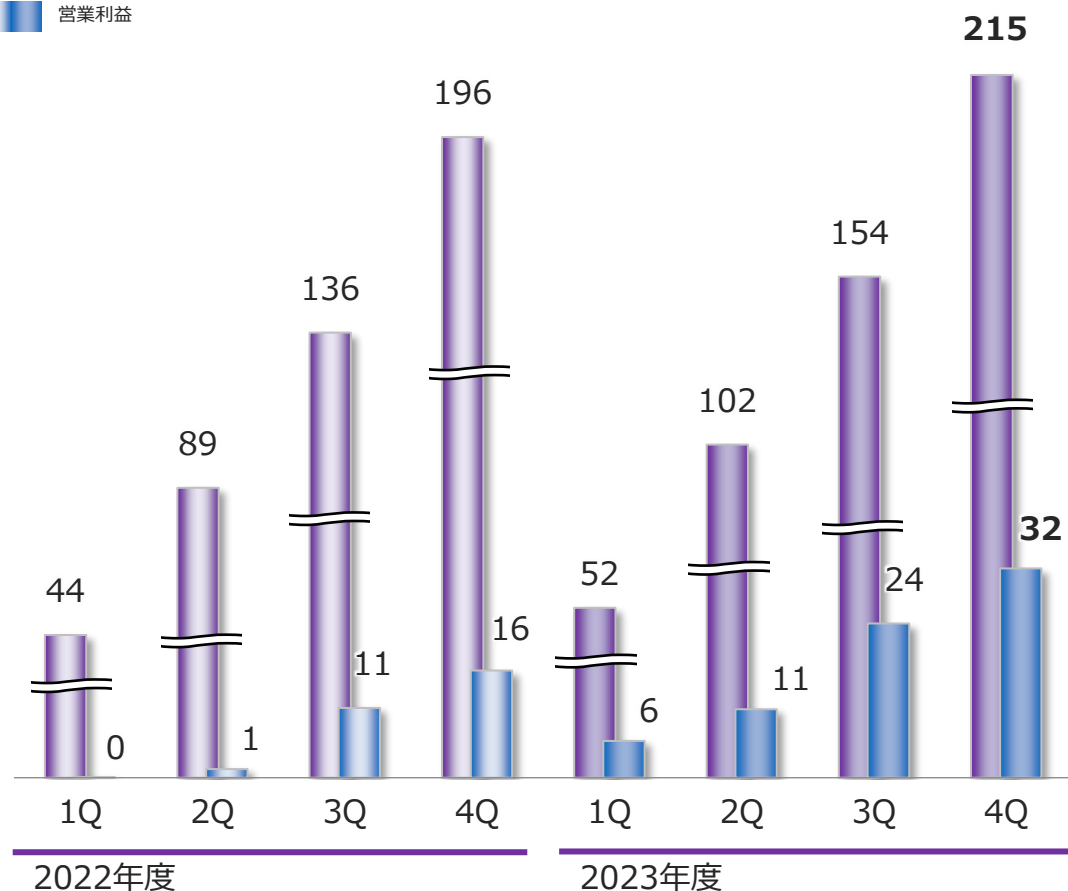
特殊電池およびその他

増収増益

売上高・営業利益 (累計)

(億円)

■ 売上高
■ 営業利益



2023年度 商況 (4-3月)

- ▶ [航空機用リチウムイオン電池] 主としてエアライン (補修) 向け販売数量が増加
- ▶ [膜事業] 2023年度より、産業電池電源セグメントから移管

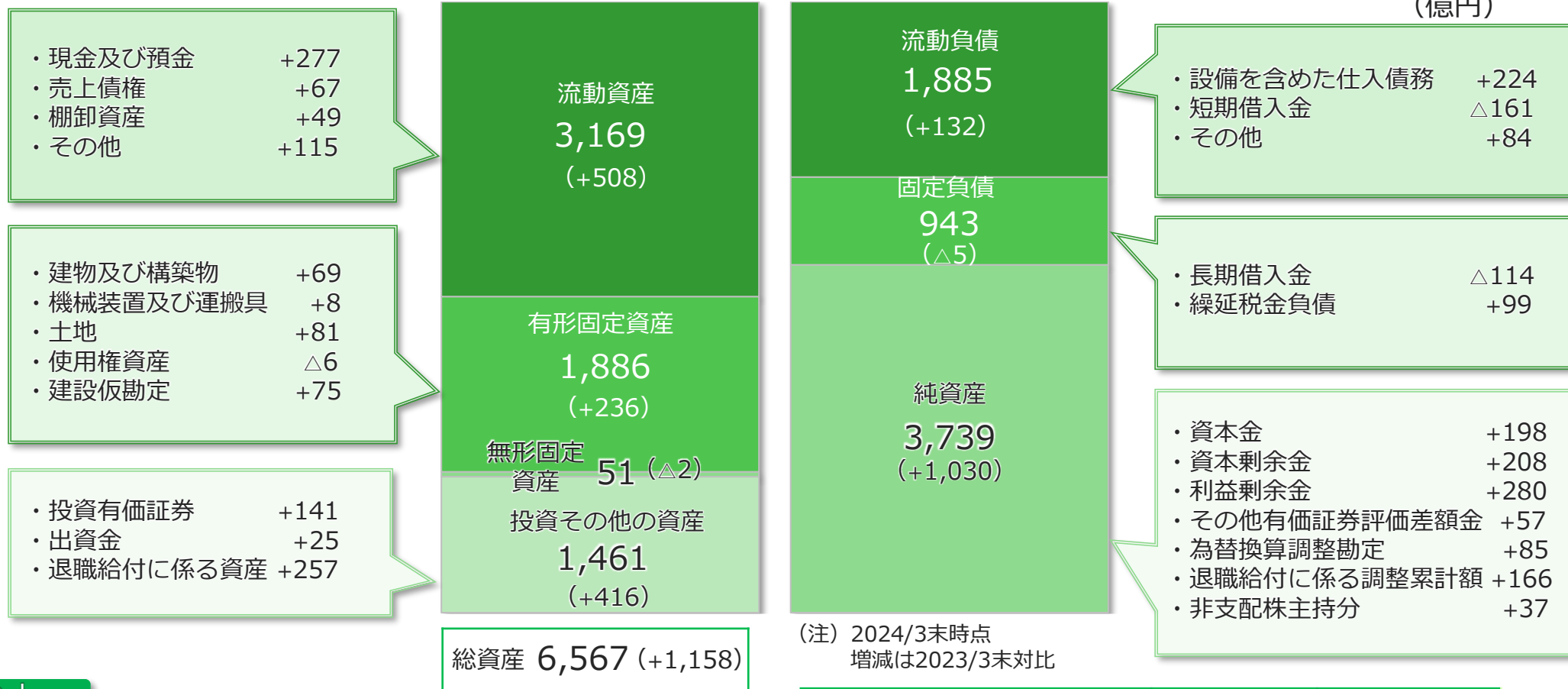
増減益要因 (前年比: 4-3月)

航空機用エアライン (補修) 向け販売増加ならびに、経費の減少により増益

(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

3. 貸借対照表

(億円)

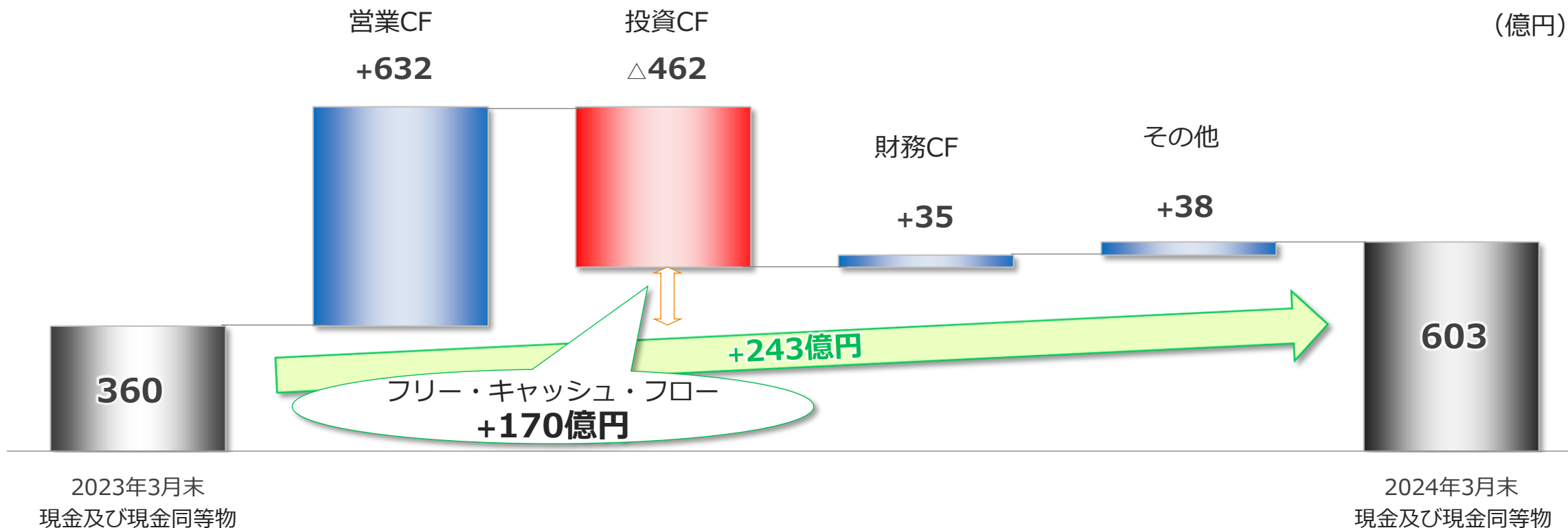


ポイント

- ▶ 公募増資の実施により現金及び預金が増加
- ▶ BEV事業開始に向け、滋賀県守山市にて工場用地を取得し造成中
- ▶ 産業電池電源の新工場建設などで建設仮勘定が増加

	2023/3末	2024/3末
自己資本比率	42.6%	50.3%
ROE (自己資本利益率)	6.5%	11.6%
借入金総額	1,037億円	762億円

4. キャッシュ・フロー計算書



ポイント

- 税前利益429億円を確保したことにより、営業CFは前年度283億円から大きく飛躍し632億円を確保できた。
- ブルーエナジー第2工場への投資や土地取得、ホンダとの研究開発合弁の設立などにより投資CFは△462億円となり、フリー・キャッシュ・フローは+170億円となった。
- 今後のBEV関連の投資に備えて増資によりキャッシュを確保した。

5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)

		2022 年度 (4-3月)	2023 年度 (4-3月)	増減	[参考] 2023 年度 通期予想
設備投資額		328	494	+166	510
自動車電池	国内	28	32	+4	40
	海外	110	73	△37	65
産業電池電源		42	20	△22	25
車載用リチウムイオン電池		72	150	+78	170
特殊電池およびその他		77	218	+141	210
減価償却費		210	228	+18	220
うち、車載用リチウムイオン電池		41	49	+8	45
研究開発費		126	140	+14	140
(売上高研究開発費率)		2.4%	2.5%	+0.1P	2.4%

主な設備投資案件

- ブルーエナジー第2工場の生産能力拡大のための投資 (車載用リチウムイオン電池)
- 京都事業所の改修工事 (特殊電池およびその他)
- BEV用電池の製造に向けた土地の取得、造成 (特殊電池およびその他)

2025年3月期 業績予想と取り組み

2025年3月期 業績予想におけるポイント

2025年3月期 業績予想 (4-3月)

	2023 年度 実績	2024 年度 予想	増減	前年比
売上高	5,629 億円	5,900 億円	+271 億円	+4.8 %
営業利益	416 億円	440 億円	+24 億円	+5.8 %
のれん等償却前営業利益	422 億円	445 億円	+23 億円	+5.4 %
経常利益	440 億円	440 億円	+0 億円	+0.0 %
親会社株主に帰属する当期純利益	321 億円	260 億円	△61 億円	△18.9 %
のれん等償却前 親会社株主に帰属する当期純利益	326 億円	265 億円	△61 億円	△18.8 %
EPS (1株当たり当期純利益)	369.74 円	259.21 円	△110.53 円	△29.9 %

次期の見通し

- ▶ 緩やかな回復が見込まれるものの、インフレや金融引き締め継続、地政学リスクへの警戒により不透明な状況が継続すると見込まれます。
- ▶ このような状況の中、ハイブリッド車用、電気自動車用のリチウムイオン電池やESS等の常用分野など、カーボンニュートラル実現に向け、当社が事業活動を展開する事業領域は拡大していくと認識しています。
- ▶ これら拡大する市場需要を確実に取り込むとともに、既存事業である自動車電池事業や産業電池事業の非常用分野においては、徹底した付加価値創出と収益性改善を進めることにより各種コスト上昇を吸収し、収益確保を目指します。

1. 売上高・利益予想



	2023 年度		2024 年度		増減		(前期比)		(億円)	
	実績		予想						[参考] 上期実績・予想 (4-9月)	
					2023年度 上期実績	2024年度 上期予想				
売上高	5,629		5,900		+271		(+4.8%)		2,568	2,630
営業利益 (利益率)	416	7.4%	440	7.5%	+24	+0.1P	(+5.8%)		127	130
のれん等償却前営業利益 (利益率)	422	7.5%	445	7.5%	+23	+0.0P			129	-
経常利益	440		440		+0		(+0.0%)		120	125
親会社株主 当期純利益 (利益率)	321	5.7%	260	4.4%	△61	△1.3P	(△18.9%)		60	60
のれん等償却前親会社株主 当期純利益 (利益率)	326	5.8%	265	4.5%	△61	△1.3P			62	-
EPS (1株当たり当期純利益)	369.74 円		259.21 円		△110.53 円				74.06 円	59.82 円
年間配当金 (円/株)	70 円 (予定)		70 円 (予定)		±0 円				15 円 (中間)	20 円 (中間)
総還元性向	20.6 %		26.5 %		+5.9 P				-	-
ROE (自己資本当期純利益率)	11.6 %		8.0 %		△3.6 P				-	-
ROIC (投下資本利益率)	13.7 %		12.5 %		△1.2 P				-	-
国内鉛建値 (万円/t)	37.34 万円/t		37.2 万円/t		△0.14 万円/t				36.84 万円/t	37.2 万円/t
LME (US\$/t)	2,121 US\$/t		2,200 US\$/t		+79 US\$/t				2,144 US\$/t	2,200 US\$/t
為替 (円/US\$)	145.31 円/US\$		145.00 円/US\$		△0.31 円/US\$				142.61 円/US\$	150.00 円/US\$

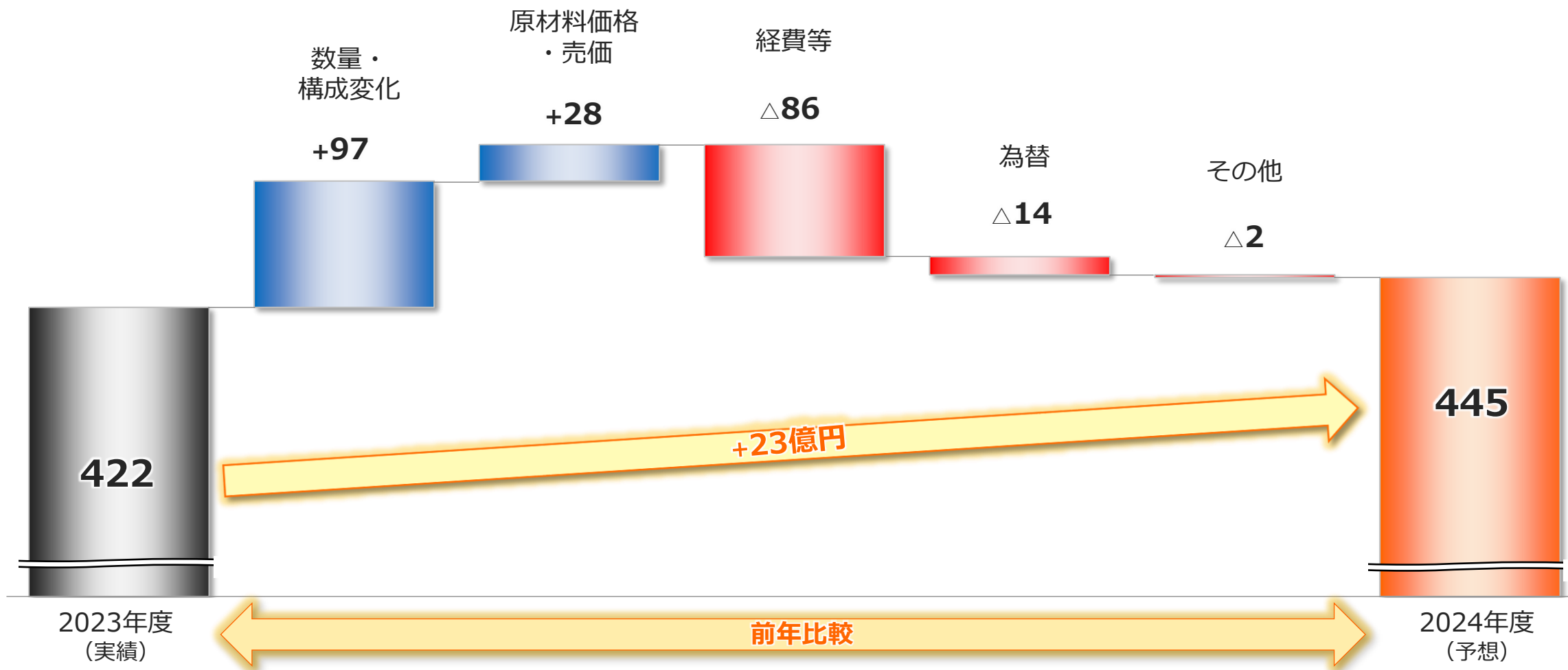
(注1) ROEおよび総還元性向は、のれん等償却前当期純利益に対するものです。

(注2) ROICは、のれん等償却前営業利益÷投下資本(固定資産(のれん等除く)+運転資本)で算出。投下資本は期首と期末の平均値。

1. 売上高・利益予想

営業利益増減要因（実績・予想比較）

（億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

2. セグメント別業績予想

(億円)

		2023 年度 実績		2024 年度 予想		増減	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)
自動車 電池	国内	940	81 (8.6)	1,000	80 (8.0)	+60	△1 (△0.6)
	海外	2,529	151 (6.0)	2,590	165 (6.4)	+61	+14 (+0.4)
産業電池電源		1,097	132 (12.0)	1,200	130 (10.8)	+103	△2 (△1.2)
車載用 リチウムイオン電池		848	26 (3.1)	900	40 (4.4)	+52	+14 (+1.3)
特殊電池およびその他		215	32 (14.9)	210	30 (14.3)	△5	△2 (△0.6)
合計		5,629	422 (7.5)	5,900	445 (7.5)	+271	+23 (+0.0)

業績予想の前提 (4-3月)

- 原材料の高騰、インフレ影響により売上高は増加するものの、転嫁は限定的と想定
- 自動車生産はハイブリッド車需要の拡大もあり増加を想定
- 鉛価格動向はLMEは安定的に推移も、円安影響を受けて国内鉛建値は高止まり
- 為替は円安基調が継続を想定

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

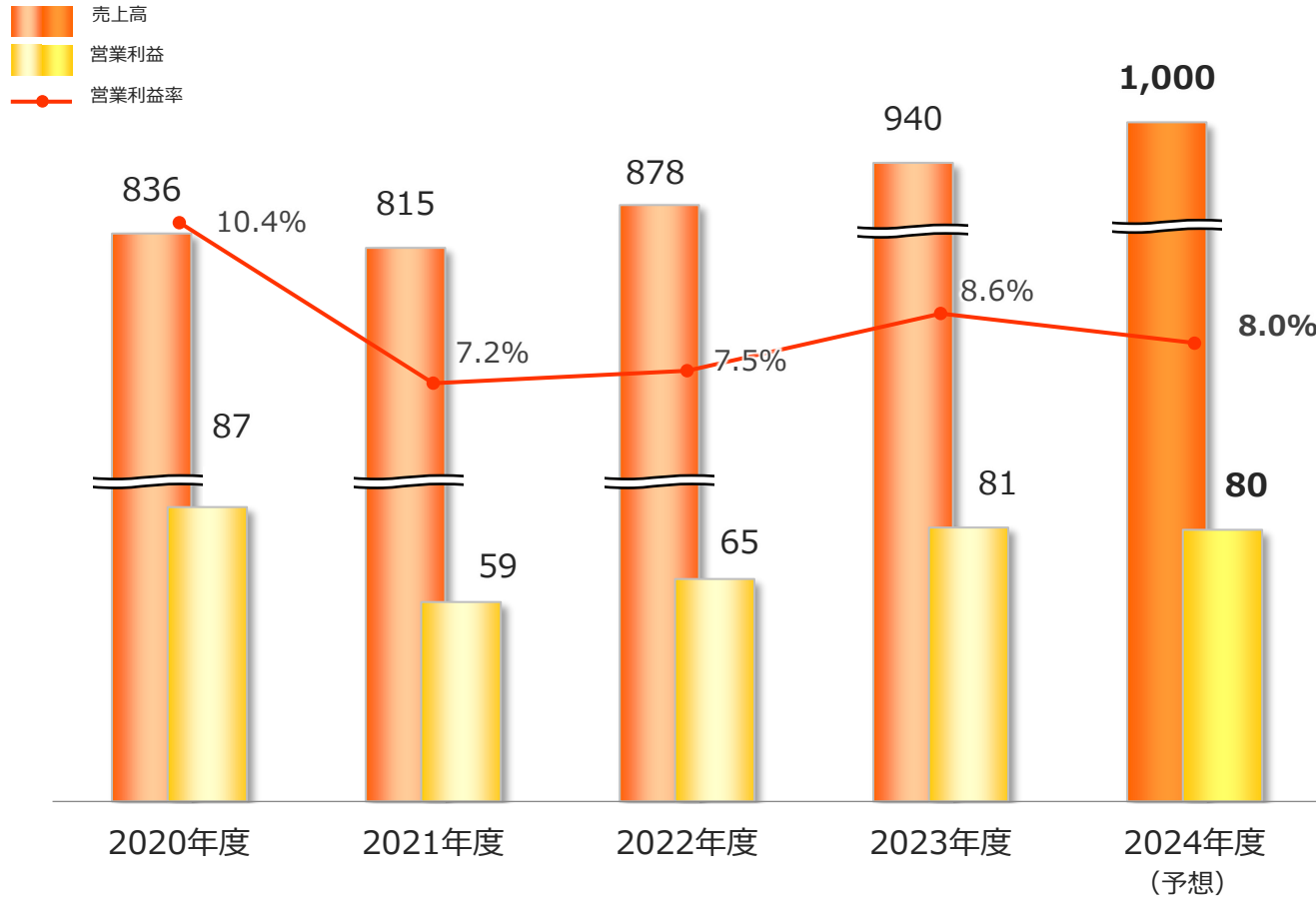
<前提条件>	2023 年度 実績	2024 年度 予想	増減
国内鉛建値 (万円/t)	37.34	37.20	△0.14
LME (US\$/t)	2,121	2,200	+79
為替 (円/US\$)	145.31	145.00	△0.31

2. セグメント別業績予想 (自動車電池 (国内))

自動車電池 (国内)

増収減益予想

売上高・営業利益・利益率 (億円)

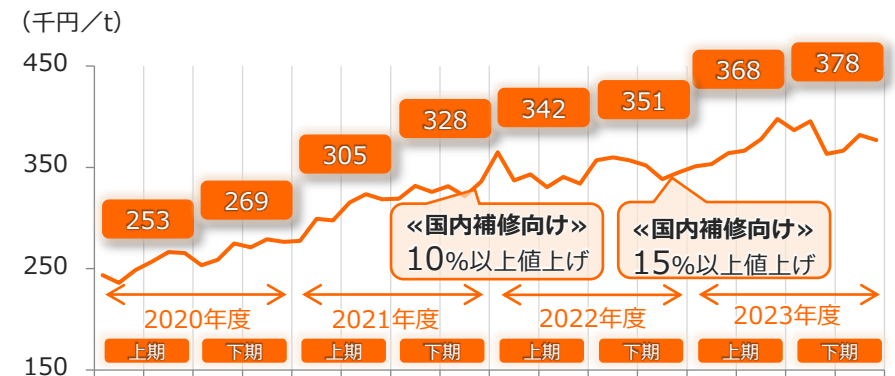


(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2024年度 業績動向 (4-3月)

- **[新車向け]**
物量の増加に加えて、さらなる収益改善に向けて売価転嫁を推進
- **[補修向け]**
量販店向けを中心とした販売物量の増加

国内鉛建値 (業績関連指標)

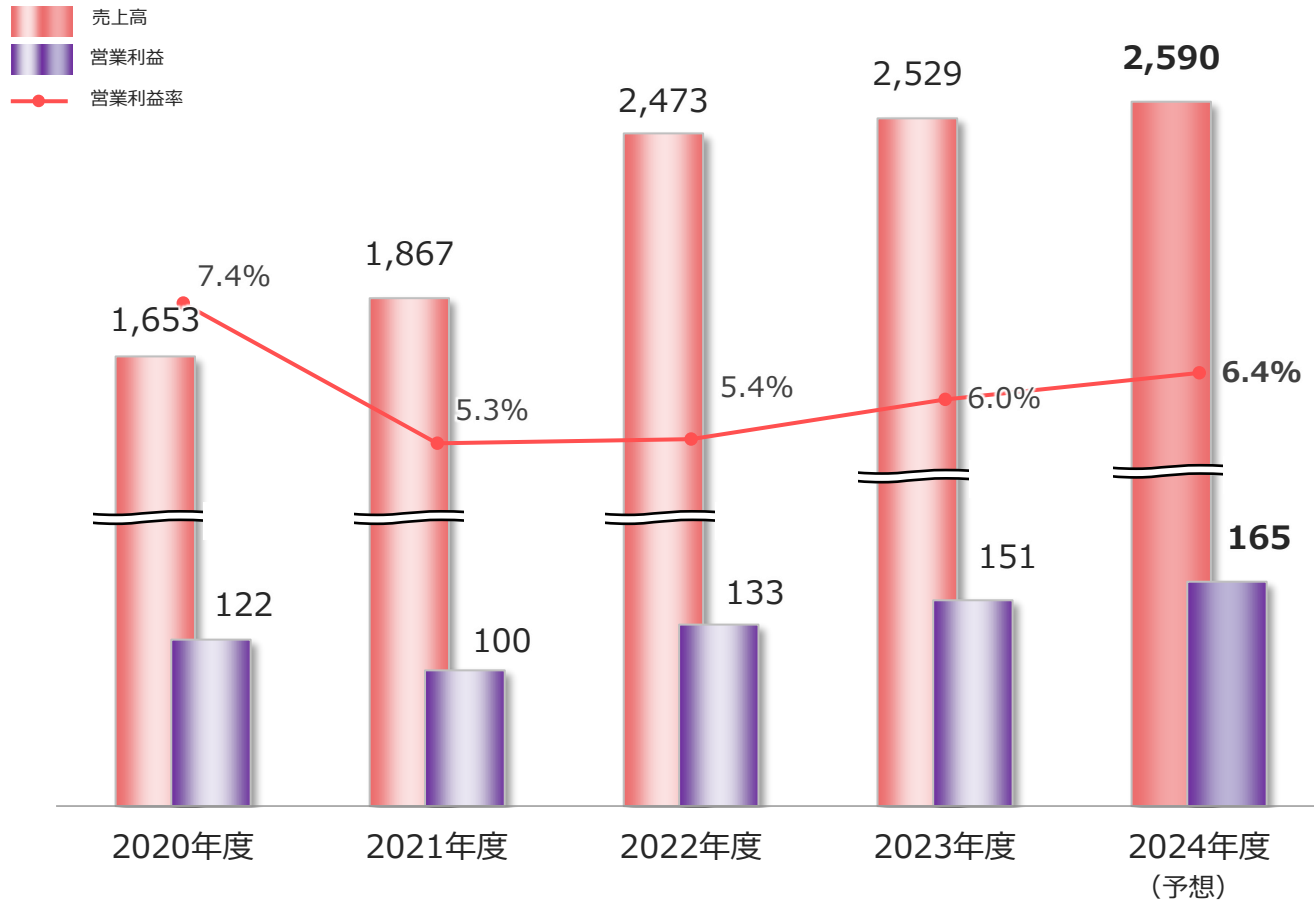


2. セグメント別業績予想 (自動車電池 (海外))

自動車電池 (海外)

増収増益予想

売上高・営業利益・利益率 (億円)

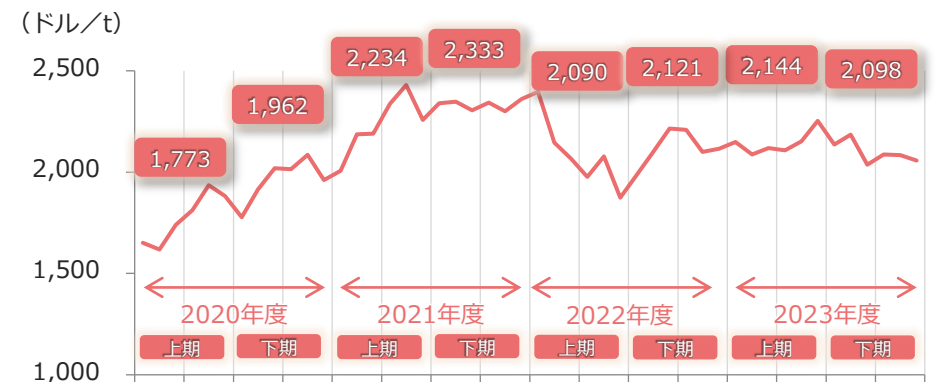


(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2024年度 業績動向 (4-3月)

- ▶ **[東南アジア]**
 四輪はタイを中心に物量増加
 ・ [生産能力の拡張]
 23年度：500万個/年⇒将来：600万個/年 (目標)
 二輪はインドネシアの回復による増加
- ▶ **[欧州]**
 23年度に続きトルコリラ安による輸出堅調
- ▶ **[豪州]**
 「Made in Australia」による販売拡大

LME (業績関連指標)



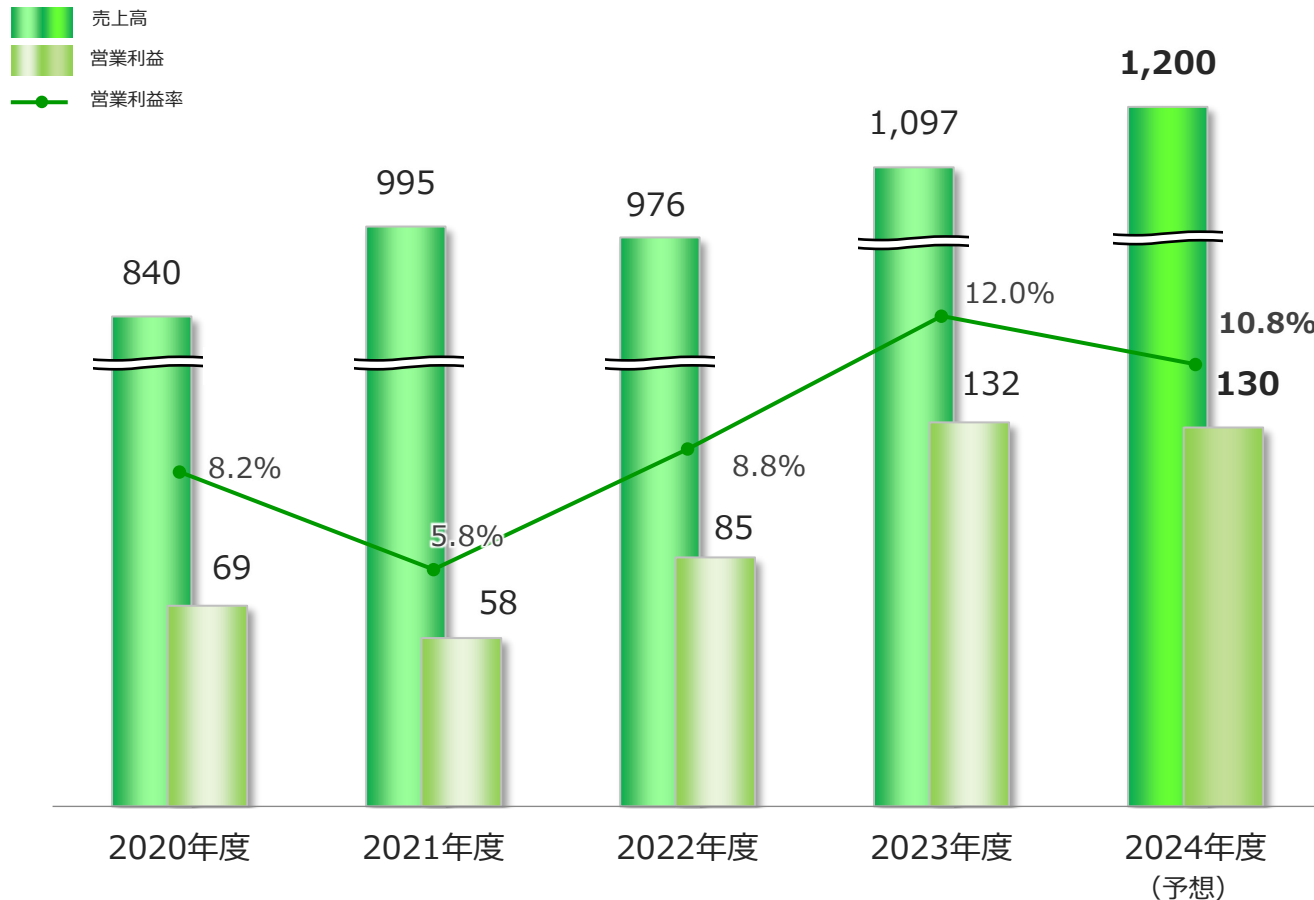
2. セグメント別業績予想 (産業電池電源)

産業電池電源

増収減益予想

売上高・営業利益・利益率

(億円)



2024年度 業績動向 (4-3月)

- **[非常用 (国内)]**
原子力案件などで電池電源装置が好調
- **[常用 (国内)]**
カーボンニュートラルを背景とした販売物量増と収益性の向上
・ [販売物量の拡大]
23年度：100万セル/年⇒24年度：130万セル/年 (目標)
- **[フォークリフト用 (グローバル)]**
他社製リチウムイオン電池を活用してフォークリフトのLiB化へ対応

(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

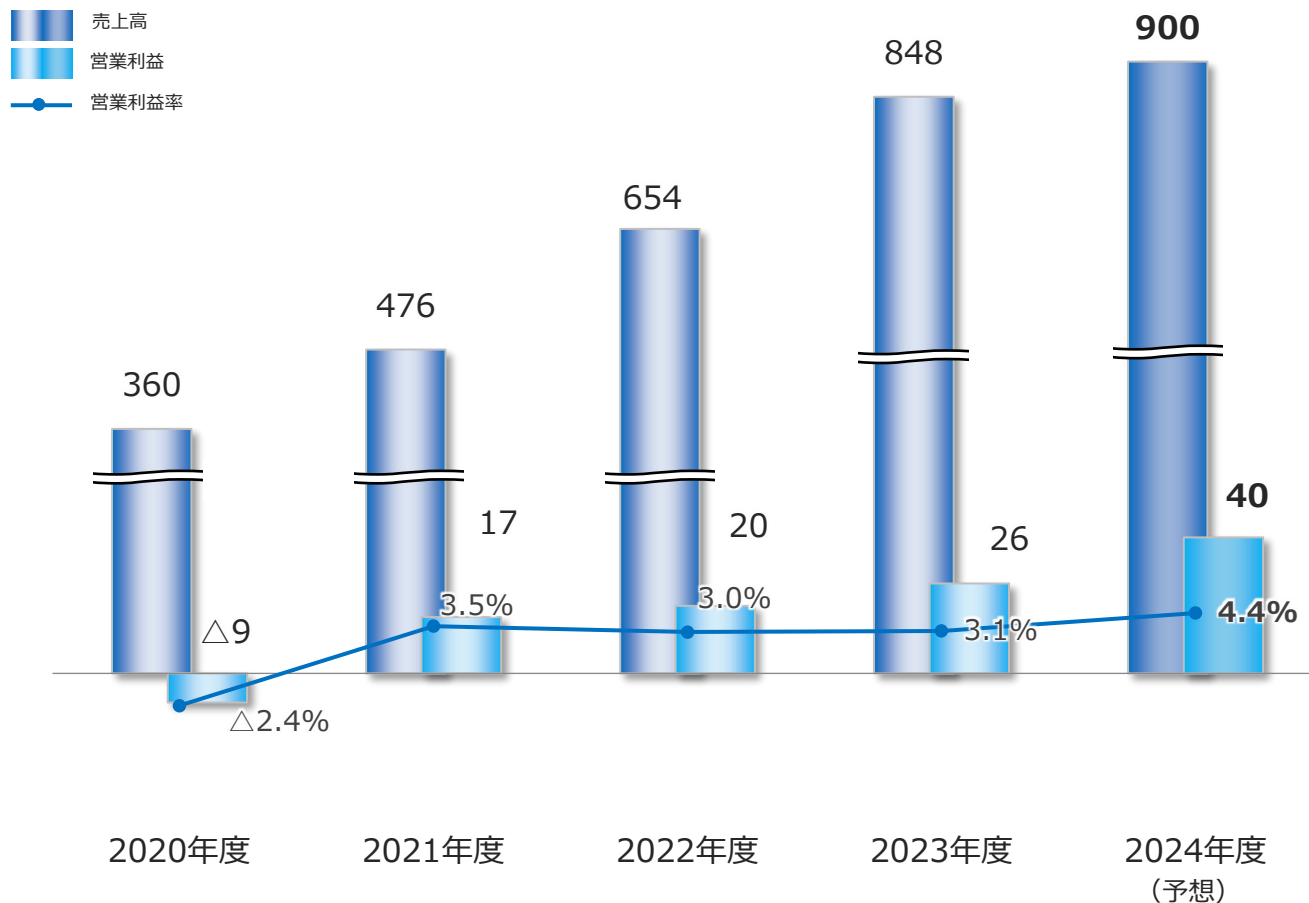
2. セグメント別業績予想 (車載用リチウムイオン電池)

車載用リチウムイオン電池

増収増益予想

売上高・営業利益・利益率

(億円)



2024年度 業績動向 (4-3月)

- **[HEV]**
 日系自動車メーカーのHEV需要増を追い風とした販売物量の増加
 ・新規メーカーへの納入開始予定
- **[PHEV]**
 車種拡大による販売物量の増加
 ・ [生産能力の拡張]
 23年度：600万セル/年⇒24年度：800万セル/年 (目標)
- **[BEV]**
 Honda・GS Yuasa EV Battery R&Dを中心としたBEV用電池開発の推進
- **[12V LiB]**
 売価是正による黒字化
- **[ESS]**
 カーボンニュートラルを背景とした物量増による稼働増

2. セグメント別業績予想 (特殊電池およびその他)

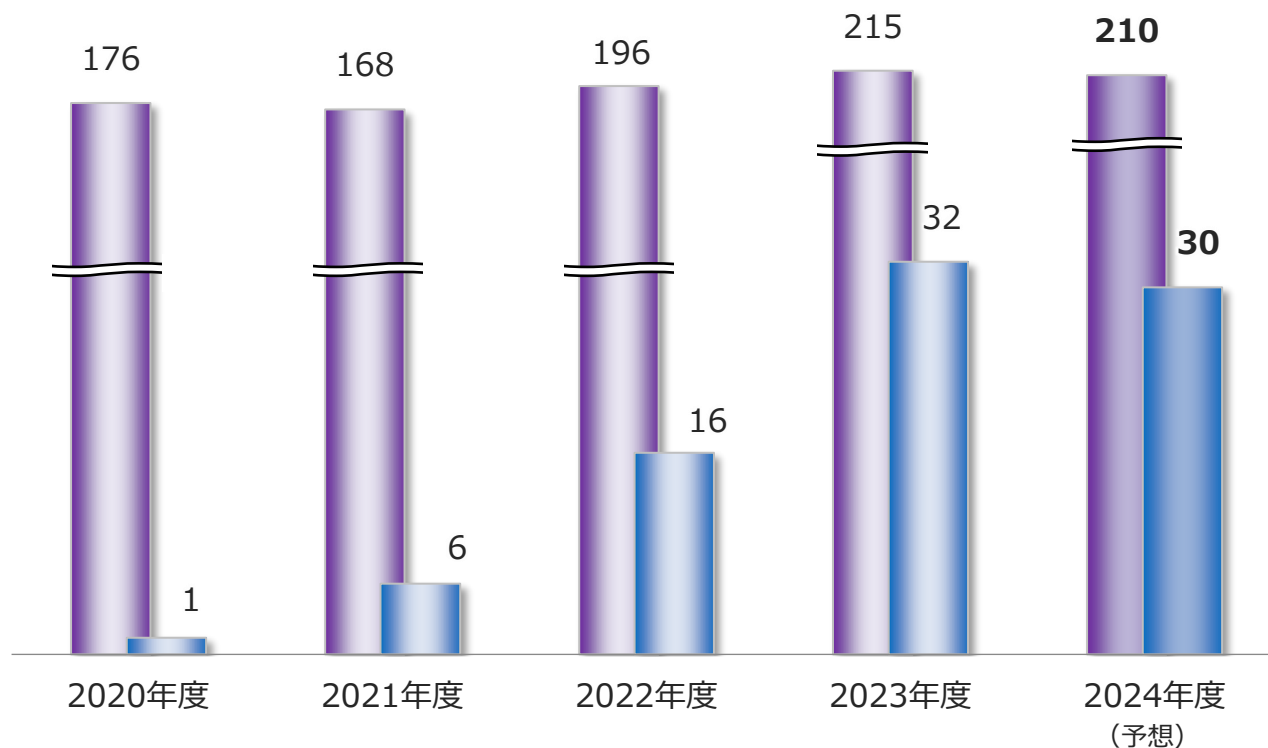
特殊電池およびその他

減収減益予想

売上高・営業利益

(億円)

■ 売上高
■ 営業利益



2024年度 業績動向 (4-3月)

- **[潜水艦用リチウムイオン電池]**
継続して安定的に受注していることに加えて、原材料価格高騰の売価転嫁を推進
- **[航空機用リチウムイオン電池]**
新設向けの増加を見込んでいるものの、エアライン（補修）向けは若干の減少

(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

3. 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)

		2023 年度 実績	2024 年度 予想	増減
設備投資額		494	800	+306
自動車電池	国内	32	35	+3
	海外	73	75	+2
産業電池電源		20	50	+30
車載用リチウムイオン電池		150	105	△45
特殊電池およびその他		218	535	+317
減価償却費		228	230	+2
うち、車載用リチウムイオン電池		49	50	+1
研究開発費		140	160	+20
(売上高研究開発費率)		2.5%	2.7%	+0.2P

主な設備投資案件

- 京都事業所内のフォークリフト用新工場の投資 (産業電池電源)
- ブルーエナジー第2工場の増産投資や栗東事業所 (旧LEJ) の能力増強投資 (車載用リチウムイオン電池)
- BEV生産に向けての準備 (特殊電池およびその他)

4. 財政状態

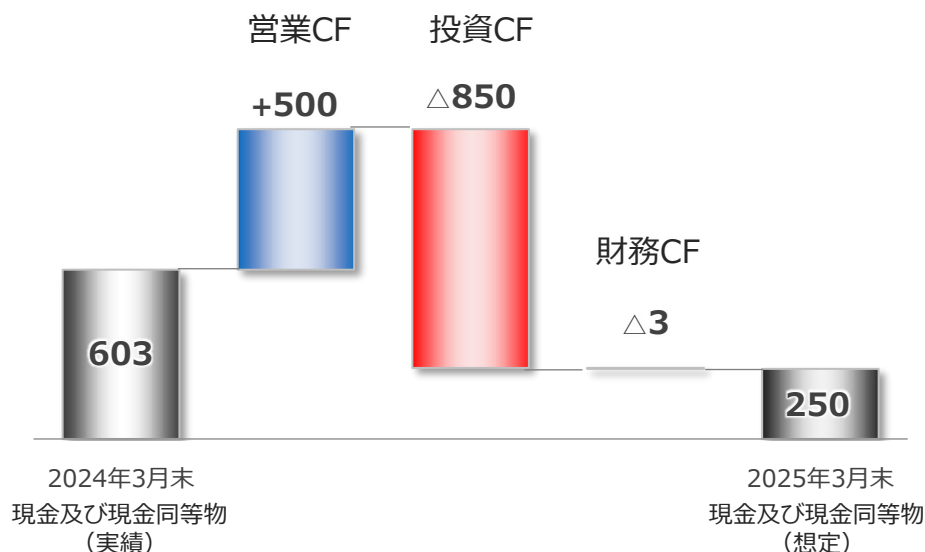
財務の健全性について

➤2023年度実施した増資により、さらなる成長機会捕捉のためにバランスシートを強化しました。2024年度も引き続き自己資本比率40%以上を維持して財務の健全性を確保します。

想定貸借対照表と想定キャッシュ・フロー計算書 (2025年3月末)

想定キャッシュ・フロー計算書
(2024年度)

(億円)



想定貸借対照表
(2025年3月末)

(億円)

流動資産	3,250 (+81)	流動負債	2,150 (+265)
固定資産	3,660 (+263)	固定負債	960 (+17)
		純資産	3,800 (+61)

(注) 増減は2024/3末対比です。

財務指標	24/3末 (実績)	25/3末 (想定)
営業CF対有利子負債比率	1.4年	1.9年
自己資本比率	50.3%	48.5%
ROE (自己資本利益率)	11.6%	8.0%
ROIC (投下資本利益率)	13.7%	12.5%
有利子負債	762億円	950億円以下

(注1) ROEはのれん等償却前当期純利益、ROICはのれん等償却前営業利益に対するものです。

(注2) 財務指標「有利子負債」は借入金総額

(注3) ROICは、のれん等償却前営業利益÷投下資本(固定資産(のれん等除く)+運転資本)で算出。投下資本は期首と期末の平均値。

本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。



連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
コーポレート室（広報） 青木 裕・西島 務・田中 祥太・神田 文
Tel : 075-312-1214
<https://www.gs-yuasa.com/jp>

參考資料

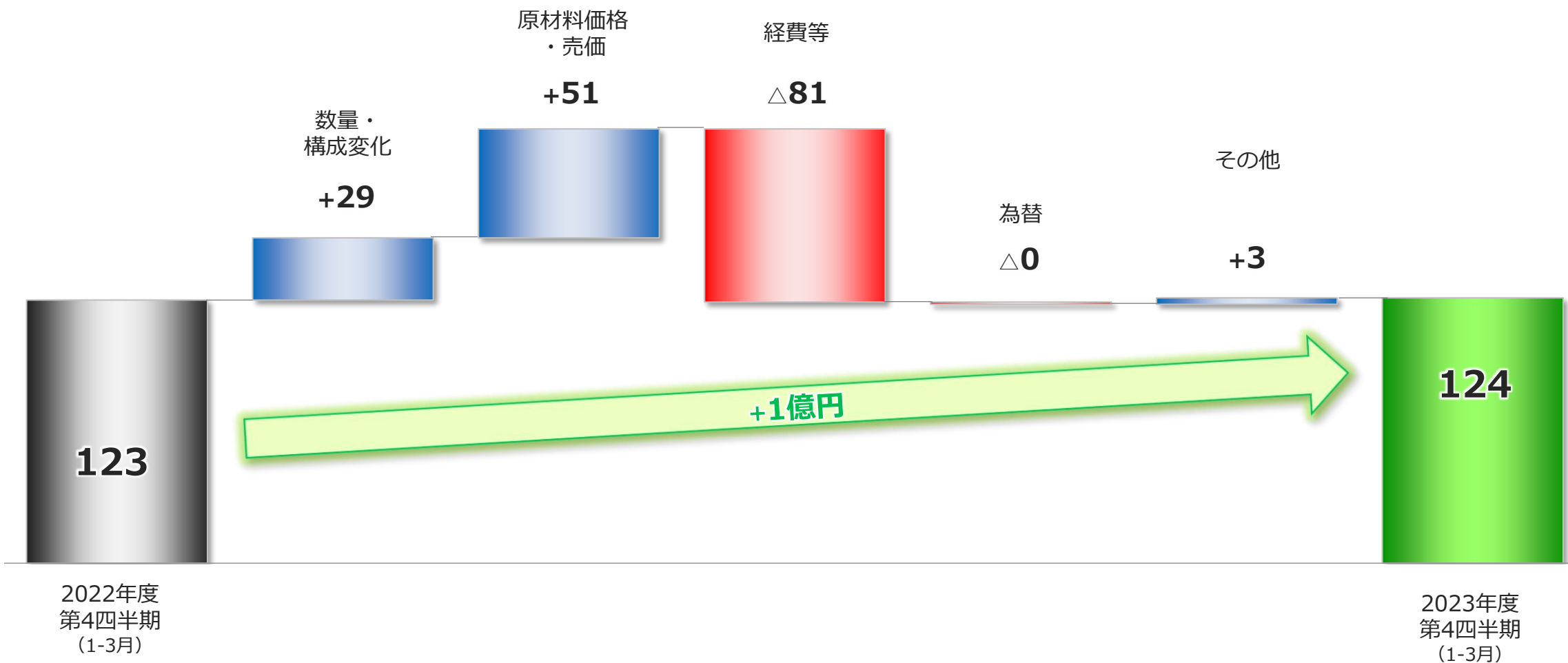
参考資料. 売上高・利益 (3か月情報)



	(億円)					
	2022 年度 第4四半期 (1-3月)	2023 年度 第4四半期 (1-3月) (B)	増減	(前期比)	[参考] 前四半期情報	
					2023年度 第3四半期 (10-12月) (A)	増減 ((B)-(A))
売上高	1,429	1,513	+84	(+5.9%)	1,548	△35
売上総利益	318	331	+13		380	△49
営業利益 (利益率)	125 8.8%	122 8.1%	△3 △0.7P	(△2.3%)	167 10.8%	△45 △2.7P
のれん等償却前営業利益 (利益率)	123 8.6%	124 8.2%	+1 △0.4P		169 10.9%	△45 △2.7P
営業外収益	5	41	+36		23	+18
営業外費用	48	13	△35		20	△7
うち持分法による投資損益 (△は損失)	△27	2	+29		17	△15
経常利益	82	150	+68	(+84.3%)	170	△20
特別利益	53	7	△46		32	△25
特別損失	35	17	△18		30	△13
税前四半期純利益	100	140	+40		172	△32
法人税等	29	△14	△43		32	△46
非支配株主 四半期純利益	10	11	+1		22	△11
親会社株主 四半期純利益 (利益率)	61 4.3%	143 9.5%	+82 +5.2P	(+135.7%)	118 7.6%	+25 +1.9P
のれん等償却前親会社株主 四半期純利益 (利益率)	58 4.1%	146 9.6%	+88 +5.5P		119 7.7%	+27 +1.9P
国内鉛建値 (万円/t)	34.51 万円/t	37.51 万円/t	+3.00 万円/t		38.19 万円/t	△0.68 万円/t
L M E (US\$/t)	2,141 US\$/t	2,076 US\$/t	△65 US\$/t		2,119 US\$/t	△43 US\$/t
為替 (円/US\$)	133.44 円/US\$	149.88 円/US\$	+16.44 円/US\$		146.14 円/US\$	+3.74 円/US\$

営業利益増減要因 (前年比較)

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)



(億円)

		2022 年度 第4四半期 (1-3月)		2023 年度 第4四半期 (1-3月) (B)		増減		[参考] 前四半期情報			
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	2023年度 第3四半期 (10-12月) (A)		増減 ((B)-(A))	
								売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)
自動車 電池	国内	247	23 (9.4)	252	29 (11.4)	+5	+6 (+2.0)	278	30 (10.9)	△26	△1 (+0.5)
	海外	604	31 (5.2)	622	18 (2.8)	+18	△13 (△2.4)	652	58 (8.8)	△30	△40 (△6.0)
産業電池電源		317	53 (16.6)	359	67 (18.8)	+42	+14 (+2.2)	342	51 (14.8)	+17	+16 (+4.0)
車載用 リチウムイオン電池		201	10 (5.0)	218	2 (1.0)	+17	△8 (△4.0)	224	17 (7.6)	△6	△15 (△6.6)
特殊電池およびその他		60	6 (9.6)	62	8 (13.7)	+2	+2 (+4.1)	51	13 (25.5)	+11	△5 (△11.8)
合計		1,429	123 (8.6)	1,513	124 (8.2)	+84	+1 (△0.4)	1,548	169 (10.9)	△35	△45 (△2.7)

23年度 第4四半期 (1-3月) 実績

- 売価転嫁の効果により売上高は増加
- 自動車生産はサプライチェーンの回復により増加
- 鉛価格動向はLMEは安定的に推移も、円安影響を受けて国内鉛建値は高止まり
- 為替は円安基調が継続

<相場情報>	2022 年度 第4四半期 (1-3月)	2023 年度 第4四半期 (1-3月) (B)	増減	[参考] 前四半期情報	
				2023年度 第3四半期 (10-12月) (A)	増減 (B)-(A)
国内鉛建値 (万円/t)	34.51	37.51	+3.00	38.19	△0.68
LME (US\$/t)	2,141	2,076	△65	2,119	△43
為替 (円/US\$)	133.44	149.88	+16.44	146.14	+3.74

(注1) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

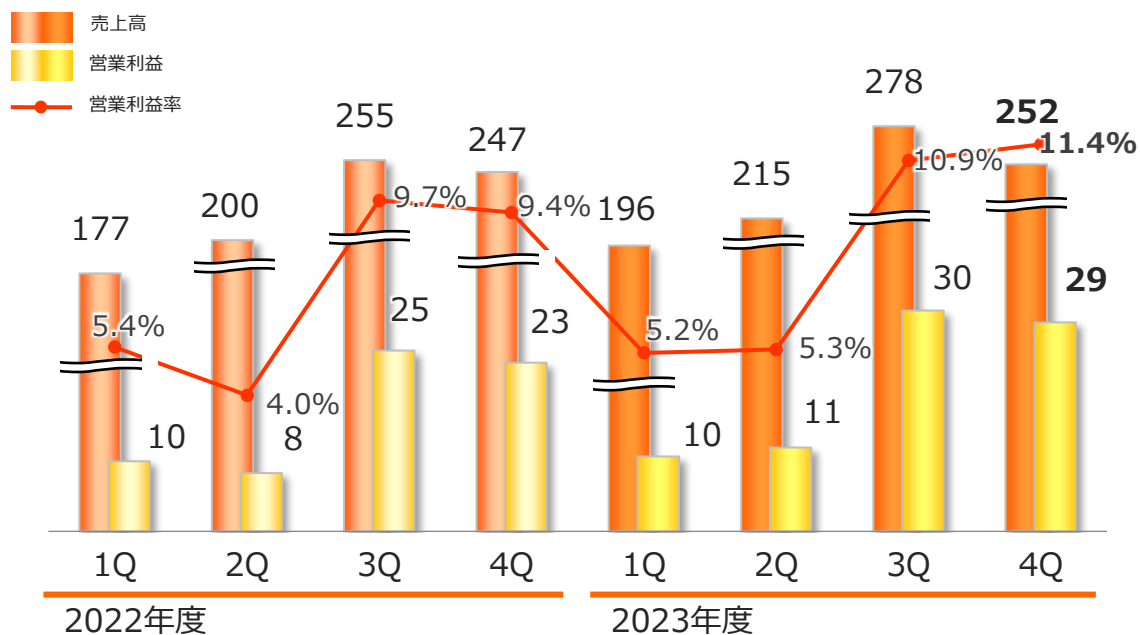
(注2) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)

自動車電池 (国内)

増収増益

売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)



増減益要因 (前年比: 1-3月)

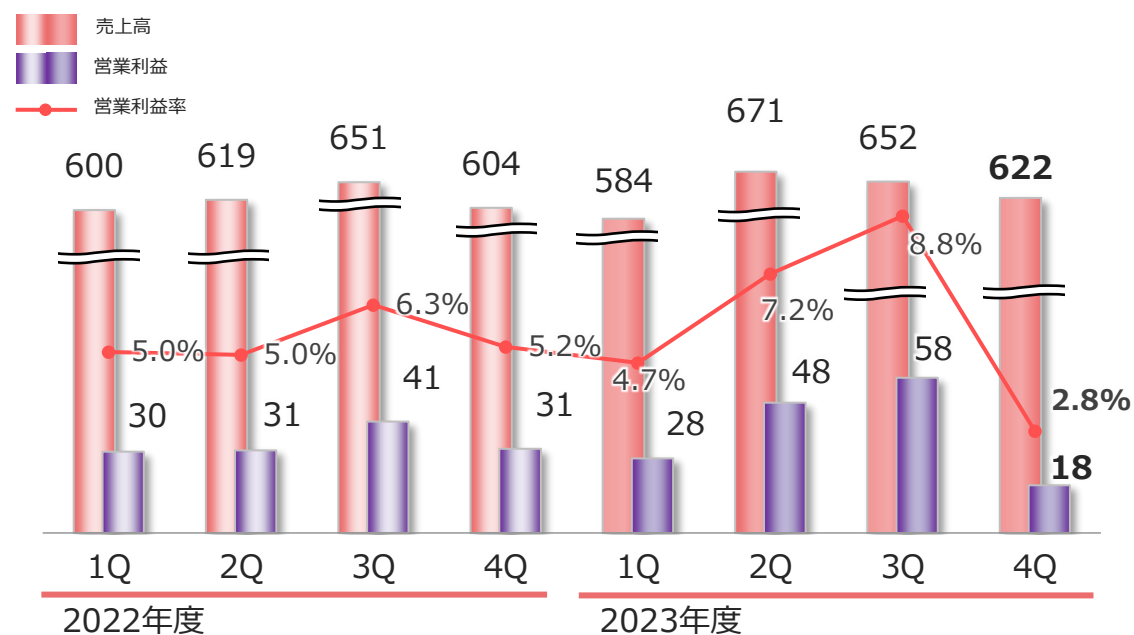
数量・構成変化	+2	
原材料価格・売価	+5	売価見直しにより増加
経費等	△2	

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

自動車電池 (海外)

増収減益

売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)



増減益要因 (前年比: 1-3月)

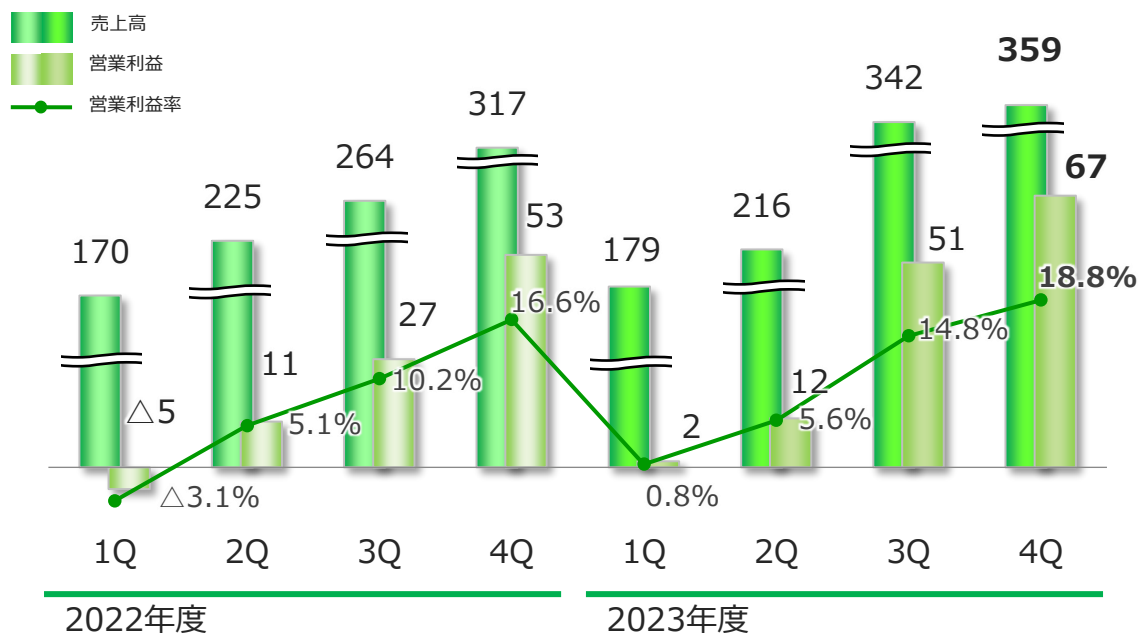
数量・構成変化	+16	主に中国の改善影響
原材料価格・売価	+41	コスト上昇の売価反映により増加
経費等	△71	インフレ影響による経費増加および超インフレ会計の適用影響
為替	△0	トルコリラ安の影響

参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)

産業電池電源

増収増益

売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)



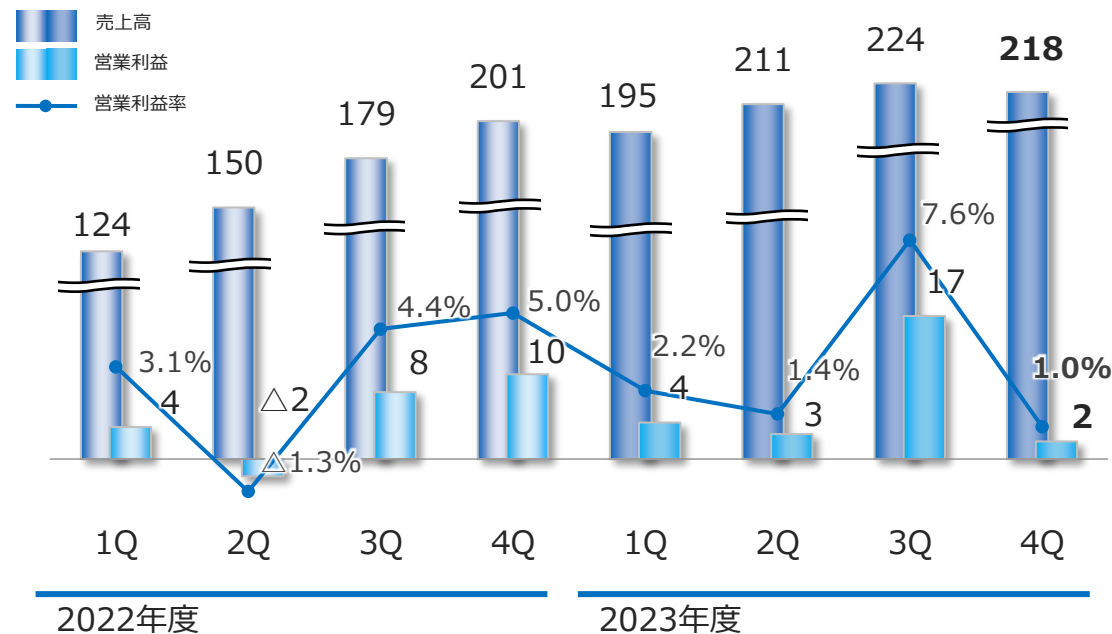
増減益要因 (前年比: 1-3月)

数量・構成変化	+7	常用分野で数量が増加
原材料価格・売価	+4	売価見直しにより増加
経費等	+3	

車載用リチウムイオン電池

増収減益

売上高・営業利益・利益率 (3か月)



増減益要因 (前年比: 1-3月)

数量・構成変化	+4	HEV用、ESS用、12V LiBの販売増加
原材料価格・売価	+1	
経費等	△12	物量増に伴う経費増加、在庫評価の見直し

(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

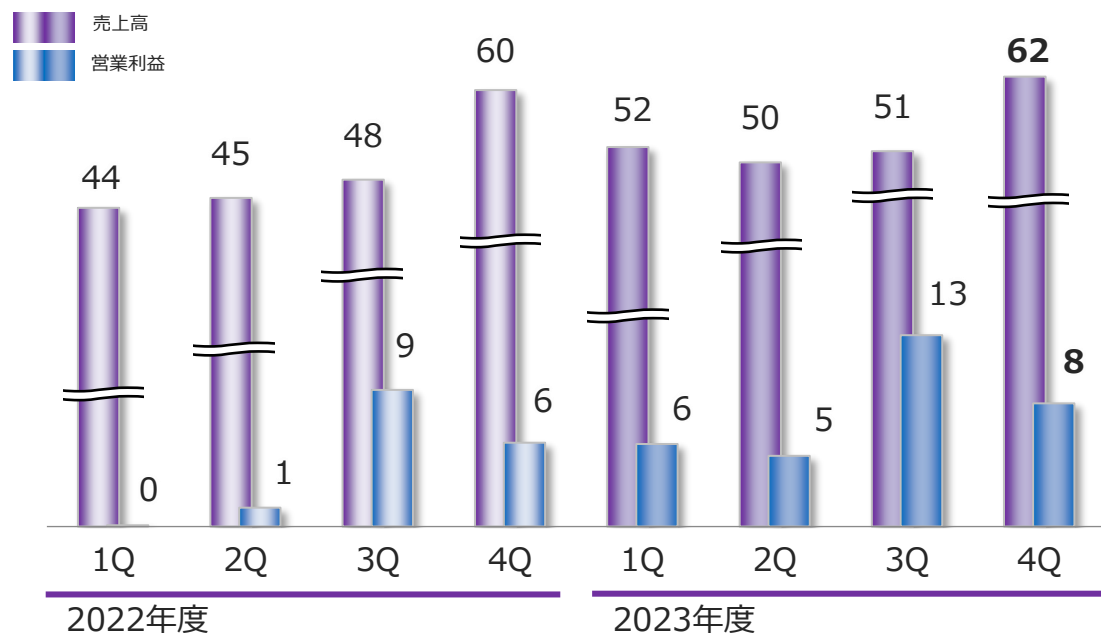
参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)

特殊電池およびその他

増収増益

売上高・営業利益 (3か月)

(億円)

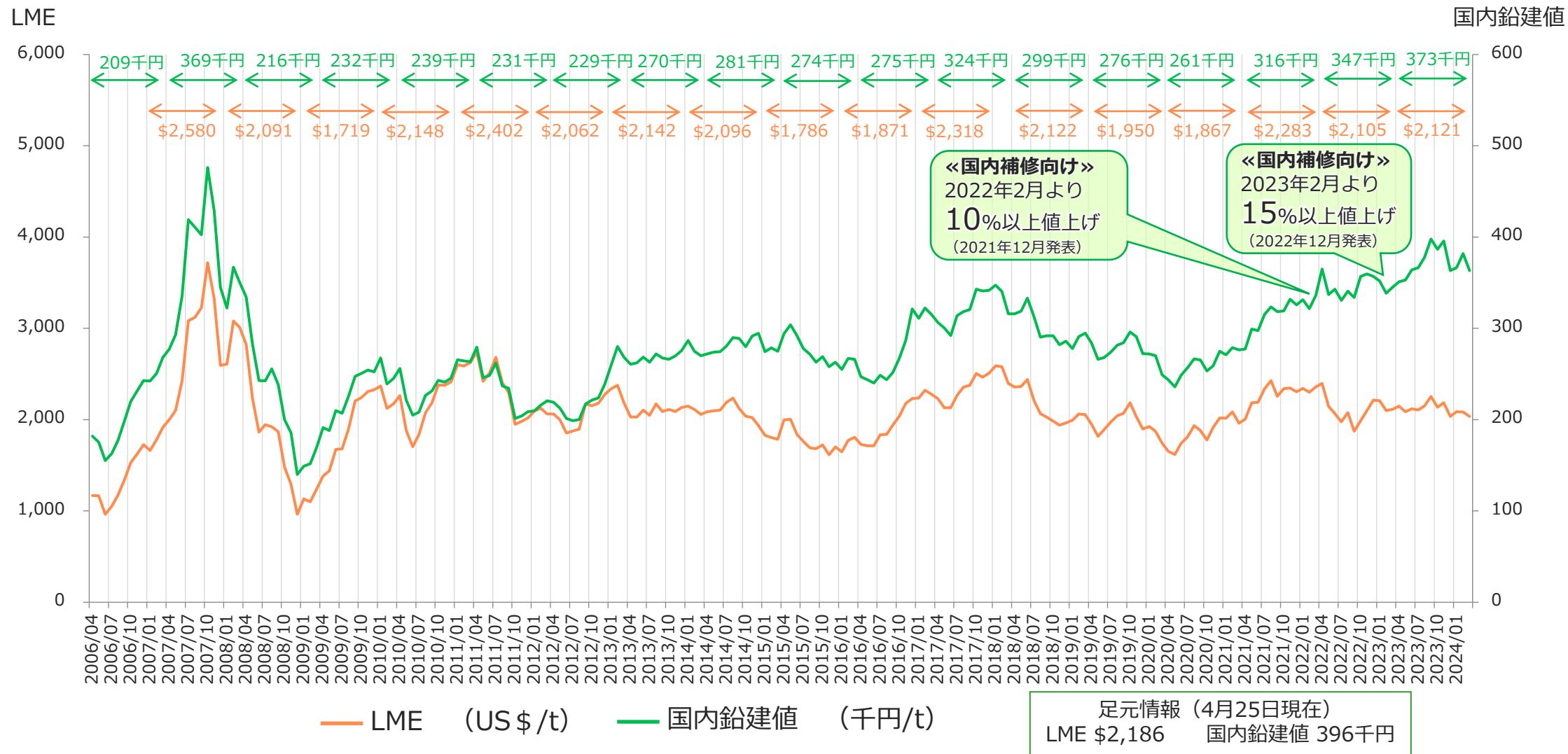


増減益要因 (前年比: 1-3月)

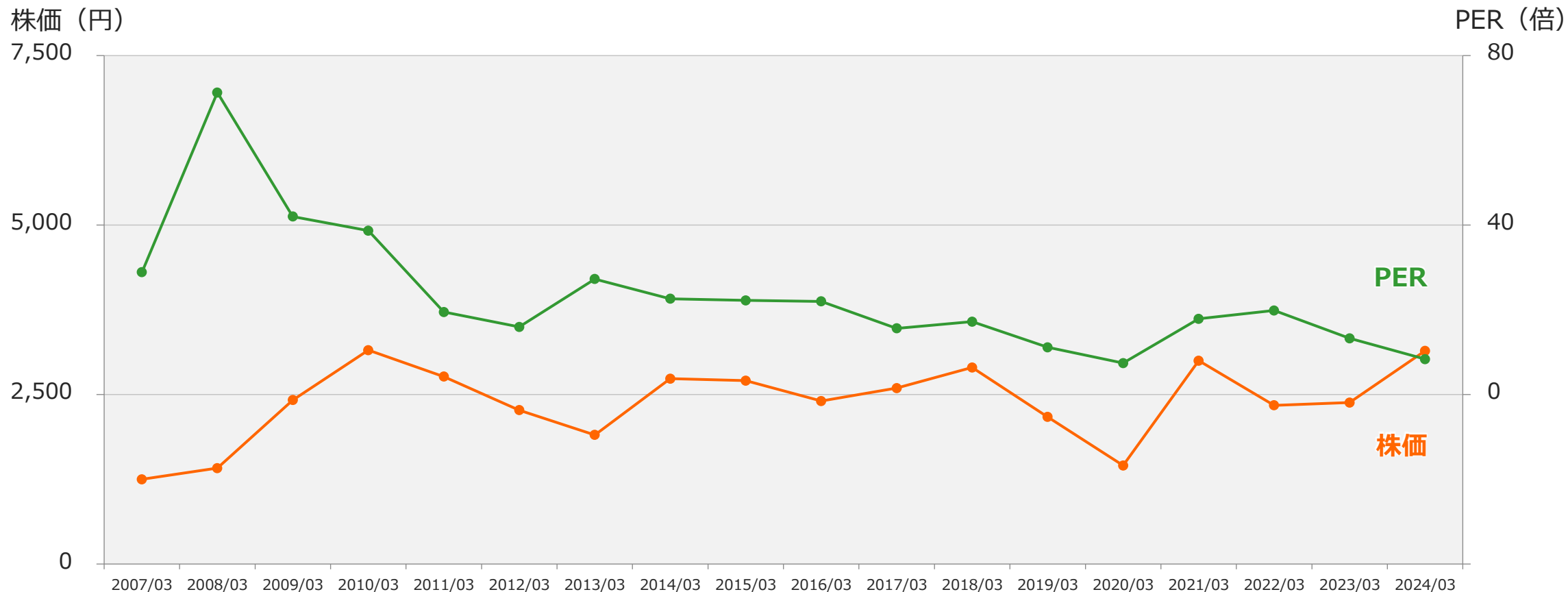
航空機用エアライン (補修) 向け販売増加ならびに、
経費の減少により増益

(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

原材料価格の推移



株価、株価収益率（PER）の推移



(注1) 株価は、3月最終営業日の終値です。

(注2) PERは、のれん等償却前当期純利益に対するものです。

(注3) 当社は、単元株式数を1,000株から100株に変更するにあたり、当社普通株式5株を1株にする株式併合を実施（効力発生日は2018年10月1日）しており、株価・PERは株式併合を考慮しております。

	年度	2019	2020	2021	2022	2023
営業利益率	(%)	6.1	7.0	5.5	6.2	7.5
自己資本当期純利益率 (ROE)	(%)	9.0	7.2	4.6	6.5	11.6
投下資本収益率 (ROIC)	(%)	10.9	12.0	9.7	11.4	13.7
1株当たり当期純利益 (EPS)	(円)	195.92	167.72	118.02	179.47	376.31
1株当たり配当額	(円)	50	50	50	50	70 (予定)
自己株式買入額	(億円)	15	0	0	0	0
総還元性向	(%)	34.9	29.8	42.4	27.9	20.6

	年度	2019	2020	2021	2022	2023
借入金総額	(億円)	645	654	825	1,037	762
D/Eレシオ	(倍)	0.42	0.41	0.50	0.55	0.34
自己資本比率	(%)	45.8	46.8	44.8	42.6	50.3
キャッシュフロー対有利子負債比率	(年)	2.2	2.2	7.0	4.0	1.4

(注1) 上記指標は、のれん等償却前利益（営業利益、当期利益）に対するものです。

(注2) ROICは、のれん等償却前営業利益÷投下資本（固定資産（のれん等除く）+運転資本）で算出。
投下資本は期首と期末の平均値。

セグメント別業績の四半期推移

(億円)

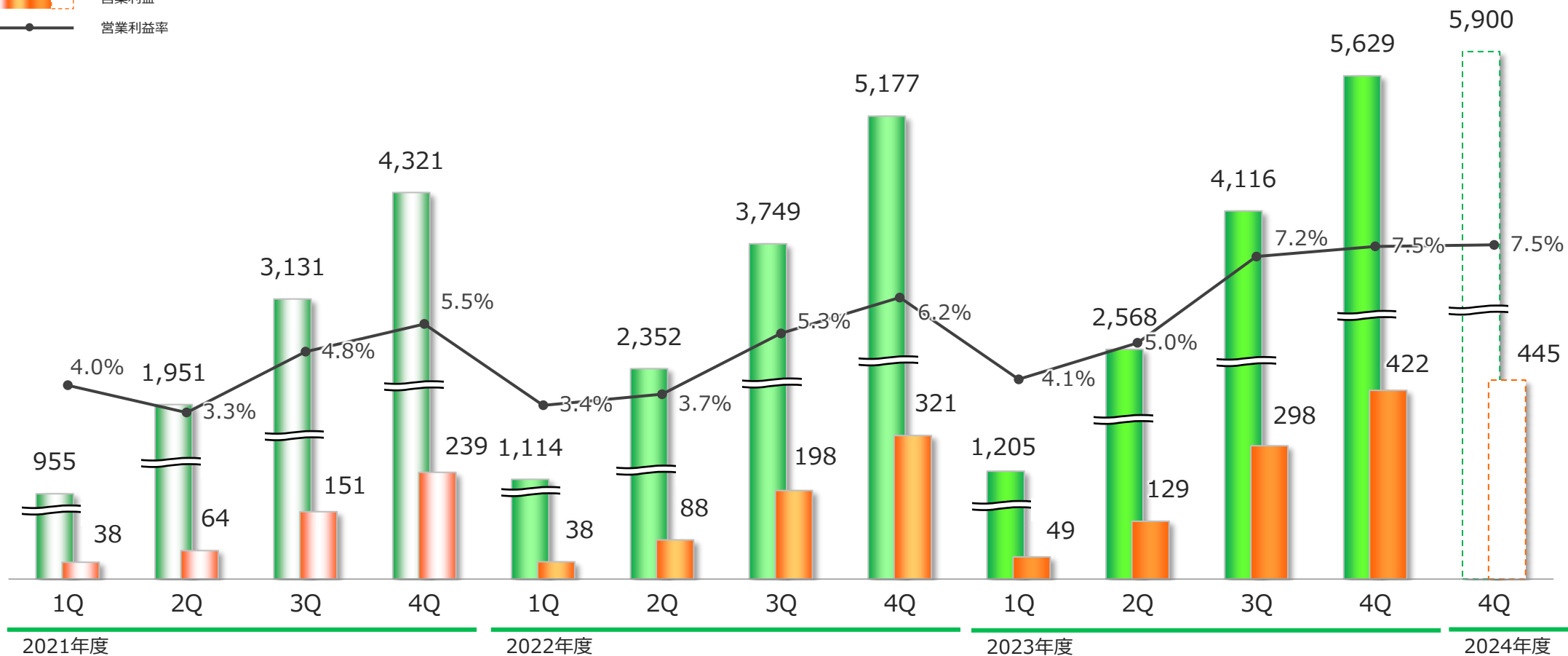
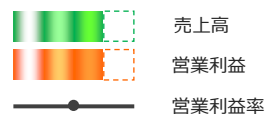
		2022 年度									2023 年度									2024 年度						
		第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期 (4-3月)		第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期 (4-3月)		通期見通し (4-3月)				
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	EBITDA (EBITDA マージン:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	EBITDA (EBITDA マージン:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	EBITDA (EBITDA マージン:%)
		自動車電池	国内	177	10 (5.4)	200	8 (4.0)	255	25 (9.7)	247	23 (9.4)	878	65 (7.5)	92 (10.5)	196	10 (5.2)	215	11 (5.3)	278	30 (10.9)	252	29 (11.4)	940	81 (8.6)	109 (11.6)	1,000
海外	600		30 (5.0)	619	31 (5.0)	651	41 (6.3)	604	31 (5.2)	2,473	133 (5.4)	201 (8.1)	584	28 (4.7)	671	48 (7.2)	652	58 (8.8)	622	18 (2.8)	2,529	151 (6.0)	226 (8.9)	2,590	165 (6.4)	-
産業電池電源		170	△5 (△3.1)	225	11 (5.1)	264	27 (10.2)	317	53 (16.6)	976	85 (8.8)	102 (10.5)	179	2 (0.8)	216	12 (5.6)	342	51 (14.8)	359	67 (18.8)	1,097	132 (12.0)	151 (13.8)	1,200	130 (10.8)	-
車載用リチウムイオン電池		124	4 (3.1)	150	△2 (△1.3)	179	8 (4.4)	201	10 (5.0)	654	20 (3.0)	61 (9.3)	195	4 (2.2)	211	3 (1.4)	224	17 (7.6)	218	2 (1.0)	848	26 (3.1)	75 (8.9)	900	40 (4.4)	-
特殊電池およびその他		44	0 (0.2)	45	1 (2.9)	48	9 (19.7)	60	6 (9.6)	196	16 (8.4)	74 (37.9)	52	6 (10.9)	50	5 (9.7)	51	13 (25.5)	62	8 (13.7)	215	32 (14.9)	89 (41.4)	210	30 (14.3)	-
合計		1,114	38 (3.4)	1,238	49 (4.0)	1,397	110 (7.9)	1,429	123 (8.6)	5,177	321 (6.2)	530 (10.2)	1,205	49 (4.1)	1,363	80 (5.9)	1,548	169 (10.9)	1,513	124 (8.2)	5,629	422 (7.5)	650 (11.6)	5,900	445 (7.5)	675 (11.4)

(注1) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。EBITDAはのれん等償却前営業利益+減価償却費です。

(注2) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度は、変更後のセグメントにより記載しております。

売上高・営業利益・利益率推移 (累計)

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

サステナビリティ活動に対する社外からの評価

サステナビリティ評価

(2024年3月末時点)

	MSCI (米) ※1 ESG格付け	FTSE (英) ※2 ESG格付け	東洋経済新報社 ※3 CSR評価				CDP (英) 評価 ※4
			人材 活用	環境	企業 統治	社会性	
2024年	BBB	3.8	AAA	AAA	AA	AA	A-
2023年	BBB	3.8	AAA	AAA	AA	AAA	A-
2022年	BBB	3.6	AA	AAA	AA	AA	A-
2021年	A	3.6	AAA	AAA	AA	AA	B
2020年	A	3.4	AA	AAA	AA	AA	B

※1 MSCI (米) ESG格付けはジャパンESGセレクトリーダーズ指数によるものであり、「AAA、AA、A、BBB、BB、B、CCC」の7段階評価 (評価更新時期：6月頃)

※2 FTSE (英) ESG格付けは、「1~5」の5段階評価 (評価更新時期：6月頃)

※3 東洋経済新報社CSR評価は「AAA、AA、A、B、C」の5段階評価 (評価更新時期：11月頃)

※4 CDPは「A、A-、B、B-、C、C-、D、D-」の8段階評価 (評価更新時期：9月頃)